



Cisco Global Site Selector 4492R ハードウェア インストールガイド

2006 年 11 月



このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

FCC クラス A 適合装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス A デジタル装置の制限に適合していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

FCC クラス B 適合装置に関する記述：このマニュアルに記載された装置は、無線周波エネルギーを生成および放射する可能性があります。シスコの指示する設置手順に従わずに装置を設置した場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に適合していることが確認済みです。これらの仕様は、住宅地で使用したときに、このような干渉を防止する適切な保護を規定したものです。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

シスコの書面による許可なしに装置を改造すると、装置がクラス A またはクラス B のデジタル装置に対する FCC 要件に適合しなくなることがあります。その場合、装置を使用するユーザの権利が FCC 規制により制限されることがあり、ラジオまたはテレビの通信に対するいかなる干渉もユーザ側の負担で矯正するように求められることがあります。

装置の電源を切ることによって、この装置が干渉の原因であるかどうかを判断できます。干渉がなくなれば、シスコの装置またはその周辺機器が干渉の原因になっていると考えられます。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- 干渉がなくなるまで、テレビまたはラジオのアンテナの向きを変えます。
- テレビまたはラジオの左右どちらかの側に装置を移動させます。
- テレビまたはラジオから離れたところに装置を移動させます。
- テレビまたはラジオとは別の回路にあるコンセントに装置を接続します(装置とテレビまたはラジオがそれぞれ別個のブレーカまたはヒューズで制御されるようにします)。

変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うことになります。

シスコが採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティングシステムの UCB (University of California, Berkeley) パブリックドメインバージョンの一部として、UCB が開発したプログラムを最適化したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性や特定の目的への適合性、権利を侵害しないことに関する、または取り扱い、使用、または取引によって発生する、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその代理店は、このマニュアルの使用またはこのマニュアルを使用できないことによって起こる制約、利益の損失、データの損傷など間接的で偶発的に起こる特殊な損害のあらゆる可能性がシスコシステムズまたは代理店に知らされていても、それらに対する責任を一切負いかねます。

CCSP, the Cisco Square Bridge logo, Cisco Unity, Follow Me Browsing, FormShare, and StackWise are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, and iQuick Study are service marks of Cisco Systems, Inc.; and Aironet, ASIST, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Empowering the Internet Generation, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, GigaDrive, GigaStack, HomeLink, Internet Quotient, IOS, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, the Networkers logo, Networking Academy, Network Registrar, Packet, PIX, Post-Routing, Pre-Routing, ProConnect, RateMUX, Registrar, ScriptShare, SlideCast, SMARTnet, StrataView Plus, SwitchProbe, TeleRouter, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, TransPath, and VCO are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0406R)

本書で使用しているインターネット プロトコル (IP) アドレスは、実際のアドレスではありません。本書に記載されている例、コマンド出力、および図は、あくまで説明用です。このような場所で実際の IP アドレスが使用されている場合は、意図的ではなく、偶発的です。

Cisco Global Site Selector 4492R ハードウェア インストールガイド

Copyright © 2006 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.



はじめに	vii
対象読者	viii
このマニュアルの使用方法	viii
関連資料	ix
表記法	x
警告の定義	x
技術情報の入手方法	xi
Cisco.com	xi
Product Documentation DVD (英語版)	xi
マニュアルの発注方法 (英語版)	xi
シスコシステムズマニュアルセンター	xii
シスコ製品のセキュリティの概要	xiii
シスコ製品のセキュリティ問題の報告	xiii
テクニカル サポート	xiv
Cisco Technical Support & Documentation Web サイト	xiv
Japan TAC Web サイト	xiv
サービス リクエストの発行	xv
問題のシビラリティの定義	xv
その他の資料および情報の入手方法	xvi

CHAPTER 1

製品概要	1-1
はじめに	1-2
システム ハードウェアの特長	1-2
前面パネルの特長	1-3
背面パネルの特長	1-4
ポートおよびコネクタ	1-5
イーサネット コネクタ	1-5
コンソール ポート	1-6
RJ-45 - DB-9 または RJ-45 - DB-25 アダプタ	1-7

CHAPTER 2

設置の準備	2-1
安全	2-2
警告と注意	2-2
一般的な注意事項	2-4
電気に関する安全の管理	2-5
静電放電に対する保護	2-6
設置場所の準備	2-8
環境条件	2-8
設置場所の選定	2-8
過電流保護	2-8
GSS 4492R の接地	2-9
安全な環境の構築	2-9
AC 電源	2-9
電源に関するガイドライン	2-9
ケーブル接続	2-9
ラックマウントに関する注意事項	2-10
モデム、通信、または LAN オプションを使用する製品についての注意事項	2-11
必要な工具および装置	2-11

CHAPTER 3

GSS 4492R の設置	3-1
GSS 4492R の開梱と同梱品の確認	3-2
製品に破損が見つかった場合	3-2
GSS 4492R の設置	3-3
シャーシ レール マウントを取り付ける	3-5
サーバ レールを取り付ける	3-8
ラック上でシャーシをスライドさせる	3-11
ケーブルの接続	3-12
AC 電源の接続	3-13
GSS 4492R の起動	3-13
シリアル コンソール接続の確立	3-14
前面パネルの LED のチェック	3-15
GSS 4492R の取り外しまたは交換	3-15

CHAPTER 4

GSS 4492R ハードウェアのトラブルシューティング	4-1
基本項目の確認	4-2
接続の確認	4-3

CHAPTER 5

メンテナンス GSS 4492R	5-1
設置環境のメンテナンス	5-1
温度	5-2
湿度	5-2
高度	5-2
ほこりと微粒子	5-3
腐食	5-3
静電放電	5-3
電磁干渉と無線周波数干渉	5-3
磁気	5-4
電源の中断	5-4
電源保護装置の使用方法	5-5
サージプロテクタ	5-5
電力コンディショナ	5-5
無停電電源装置	5-5

APPENDIX A

仕様	A-1
電気仕様	A-1
環境仕様	A-2
物理仕様	A-2
ポート仕様	A-2

APPENDIX B

GSS 4492R コンソールポートへのモデムの接続	B-1
モデムの設定	B-2
モデムの GSS 4492R へのケーブル接続	B-2

INDEX

索引



はじめに

このマニュアルでは、Cisco Global Site Selector 4492R（GSS）を設置し、稼働できる状態にする作業について説明します。設置場所を準備する方法、装置ラックに GSS 4492R を設置する方法、GSS 4492R ハードウェアを保守およびトラブルシューティングする方法について説明します。

この章には、次の項があります。

- [対象読者](#)
- [このマニュアルの使用方法](#)
- [関連資料](#)
- [表記法](#)
- [警告の定義](#)
- [技術情報の入手方法](#)
- [シスコ製品のセキュリティの概要](#)
- [テクニカル サポート](#)
- [その他の資料および情報の入手方法](#)

対象読者



警告

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。警告文 1030

このマニュアルは、GSS 4492R の設置と運用を担当する、次のような訓練を受けた相応の資格のある読者を対象としています。

- システムの設置担当者
- ハードウェア技術者
- システム オペレータ

ネットワーキング装置とケーブル接続に精通し、電気回路や配線手順に関する基本知識が必要です。

設置を完了するには、GSS 4492R 用のソフトウェア設定を含め、ネットワーキングの基本原則、設定、特に Web ページ プロトコルに精通している必要があります。

このマニュアルの使用方法

この項では、このマニュアルの章と内容について説明します。

章 / 付録	項目
第 1 章「製品概要」	GSS 4492R の物理的な特性と、機能の概要について説明する。
第 2 章「設置の準備」	安全性に関する考慮事項、設置の概要、実際に設置する前に実行しておく必要のある手順について説明する。
第 3 章「GSS 4492R の設置」	ハードウェアの設置方法と外部ネットワーク インターフェイス ケーブルの接続方法について説明する。
第 4 章「GSS 4492R ハードウェアのトラブルシューティング」	ハードウェアの設置に関するトラブルシューティング手順を説明する。
第 5 章「メンテナンス GSS 4492R」	GSS 4492R を良好な状態で維持するための手順を示す。
付録 A「仕様」	GSS 4492R のハードウェア仕様を説明する。
付録 B「GSS 4492R コンソール ポートへのモデムの接続」	ダイヤルアップ モデムを設定して、GSS 4492R のコンソールポートに接続する方法について説明する。

関連資料

このマニュアルに加えて、GSS マニュアルセットには、他に次のものがあります。

マニュアル名	項目
『Cisco Global Site Selector Getting Started Guide』	GSS をセットアップおよび設定して、グローバル サーバ負荷バランシングを実行できるようにするための情報が掲載されています。
『Cisco Global Site Selector Administration Guide』	ログイン セキュリティ、ソフトウェア アップグレード、GSSM データベース管理、ロギングなど、GSSM および GSS 装置を正しくセットアップ、管理、および保守するために必要な手順を説明します。
『Cisco Global Site Selector GUI-Based Global Server Load-Balancing Configuration Guide』	送信元アドレス リスト、ドメイン リスト、応答、応答グループ、DNS ステイッキ、ネットワーク プロキシミティ、DNS 規則の設定など、GUI からプライマリ GSSM を設定して、グローバル サーバ負荷バランシングを実行するための手順を説明します。このマニュアルでは、GSS 装置と、GSS によって実行されるグローバル サーバ負荷バランシングの概要も紹介します。
『Cisco Global Site Selector CLI-Based Global Server Load-Balancing Configuration Guide』	送信元アドレス リスト、ドメイン リスト、応答、応答グループ、DNS ステイッキ、ネットワーク プロキシミティ、DNS 規則の設定など、CLI からプライマリ GSSM を設定して、グローバル サーバ負荷バランシングを実行するための手順を説明します。このマニュアルでは、GSS 装置と、GSS によって実行されるグローバル サーバ負荷バランシングの概要も紹介します。
『Cisco Global Site Selector Command Reference』	シンタックス、オプション、関連コマンドなど、すべての GSS Command-Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) コマンドの、モード別、アルファベット順の一覧です。このマニュアルでは、CLI インターフェイスの使用方法も紹介します。

表記法

グラフィカルユーザインターフェースの要素では、次の表記法を使用しています。

- 本文中のコマンドは、**ボールド体**で表します。
- コマンドラインに表示されるテキスト (CLI プロンプトも含まれます) はクーリエ フォントで表します。
- ユーザがコマンドラインに入力すべきコマンドとテキストは、**ボールド体クーリエ フォント**で表します。
- 初出の新しい用語、書籍のタイトル、およびテキストの強調は、*イタリック体*で表します。

リストでは、次の表記法を使用しています。

1. 番号の付いているリストは、リスト項目の順序が重要であることを示します。
 - a. アルファベットの付いているリストは、2 階層目にあるリスト項目の順序が重要であることを示します。
- 段落記号の付いているリストは、リスト項目の順序が重要でないことを示します。
 - 字下げされているリストは、下部リスト項目の順序が重要でないことを示します。

注釈、注意、および安全上の警告は、次の表記法を使用しています。



(注)

「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

警告の定義



警告

安全上の重要事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。各国の言語に翻訳された安全に関する警告文については、各警告の最後に記載されている警告文番号を使用して見つけてください。警告文 1071

これらの注意事項は保存しておいてください。

技術情報の入手方法

シスコのマニュアルと関連資料は、Cisco.com から入手できます。ここでは、シスコ製品に関する技術情報を入手する方法について説明します。

Cisco.com

次の URL から、シスコ製品の最新資料を入手することができます。

<http://www.cisco.com/techsupport>

シスコの Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com>

シスコの Web サイトの各国語版には、次の URL からアクセスしてください。

http://www.cisco.com/public/countries_languages.shtml

シスコ製品の最新資料の日本語版は、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp>

Product Documentation DVD (英語版)

Product Documentation DVD は、製品に関する技術資料を DVD にまとめたものです。この DVD を使用すると、シスコのハードウェアおよびソフトウェア製品の設置またはインストール ガイド、およびコマンド ガイドにアクセスできます。DVD を使用すると、インターネットに接続していなくても、シスコの Web サイトに掲載されているものと同じ HTML バージョンのマニュアルにアクセスできます。製品によっては、PDF バージョンのマニュアルも用意されています。

Product Documentation DVD は、1 回単位で入手することも、定期購読することもできます。Cisco.com 登録ユーザ（シスコ直販のお客様）は、Product Documentation DVD（製品番号は DOC-DOCDVD= または DOC-DOCDVD=SUB）を Cisco Marketplace で発注できます。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

マニュアルの発注方法 (英語版)

Cisco.com 登録ユーザの場合、Cisco Marketplace の Product Documentation Store でシスコ製品の英文マニュアルを発注できます。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

Cisco.com に登録されていない場合、製品を購入された代理店へお問い合わせください。

シスコシステムズマニュアルセンター

シスコシステムズマニュアルセンターでは、シスコ製品の日本語マニュアルの最新版を PDF 形式で公開しています。また、日本語マニュアル、および日本語マニュアル CD-ROM もオンラインで発注可能です。ご希望の方は、次の URL にアクセスしてください。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

また、シスコシステムズマニュアルセンターでは、日本語マニュアル中の誤記、誤植に関するコメントをお受けしています。次の URL の「製品マニュアル内容不良報告」をクリックすると、コメント入力画面が表示されます。

<http://www2.hipri.com/cisco/>

なお、技術内容に関するお問い合わせは、この Web サイトではお受けできませんので、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。

シスコ製品のセキュリティの概要

シスコでは、オンラインの Security Vulnerability Policy ポータル (英文のみ) を無料で提供しています。URL は次のとおりです。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このサイトは、次の目的に利用できます。

- シスコ製品におけるセキュリティ上の脆弱性を報告する。
- シスコ製品のセキュリティ事象についてサポートを受ける。
- シスコからのセキュリティ情報を受け取るための登録をする。

シスコ製品のセキュリティ勧告、セキュリティ注意事項、およびセキュリティ対策に関する最新のリストは、次の URL から入手できます。

<http://www.cisco.com/go/psirt>

セキュリティ勧告、セキュリティ通知、セキュリティ対策がアップデートされた時点で、リアルタイムに確認したい場合は、Product Security Incident Response Team Really Simple Syndication (PSIRT RSS) フィードに登録してください。PSIRT RSS フィードへの登録方法については、次の URL で確認できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_psirt_rss_feed.html

シスコ製品のセキュリティ問題の報告

シスコでは、安全な製品を提供すべく全力を尽くしています。製品のリリース前に社内でテストを実施し、すべての脆弱性を迅速に修正するように努力しております。至急の対応を要するシスコ製品に脆弱性が見つかった場合は、PSIRT にご連絡ください。

- 緊急度の高い問題 — security-alert@cisco.com (英語のみ)

緊急度の高い問題とは、システムが攻撃にさらされているか、至急の対応を要する重大なセキュリティ脆弱性が報告されている場合のことです。これ以外の問題は、緊急度の低い問題と見なされます。

- 緊急度の低い問題 — psirt@cisco.com (英語のみ)

緊急度が高い問題の場合、電話で PSIRT に問い合わせることもできます。

- 1 877 228-7302
- 1 408 525-6532



ヒント

機密情報をシスコに送信する場合には、PGP (Pretty Good Privacy) または PGP 互換の製品 (たとえば、GnuPG) を使用して、情報を暗号化することをお勧めします。PSIRT は、PGP バージョン 2.x から 9.x で暗号化された情報に対応しています。

無効になった、または有効期限が切れた暗号鍵は、絶対に使用しないでください。PSIRT に連絡する際に使用する正しい公開鍵は、次の URL の Security Vulnerability Policy ページにある Contact Summary セクションでリンクされている公開鍵を使用してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/products_security_vulnerability_policy.html

このページのリンクには、最新の PGP 暗号鍵 ID があります。

PGP がない、またはを使用していない場合は、前述のメール アドレスまたは電話番号で PSIRT に問い合わせ、他のデータ暗号化方法を確認してください。

テクニカル サポート

Cisco Technical Support では、24 時間テクニカル サポートを提供しています。Cisco.com の Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、多数のサポート リソースをオンラインで提供しています。さらに、シスコシステムズとサービス契約を結んでいるお客様には、シスコの Technical Assistance Center (TAC) のエンジニアによる電話でのサポートも提供しています。シスコとサービス契約を結んでいない場合は、代理店にお問い合わせください。

Cisco Technical Support & Documentation Web サイト

Cisco Technical Support & Documentation Web サイトでは、シスコの製品およびテクノロジーに関するトラブルシューティングに役立てていただけるように、オンラインでマニュアルやツールを提供しています。この Web サイトは、24 時間いつでも利用することができます。次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/techsupport>

Cisco Technical Support & Documentation Web サイト上のツールにアクセスするには、Cisco.com のユーザ ID とパスワードが必要です。サービス契約が有効で、ユーザ ID またはパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://tools.cisco.com/RPF/register/register.do>



(注)

Web 上または電話でテクニカル サポートにお問い合わせいただく前に、Cisco Product Identification (CPI) ツールを使用して、製品のシリアル番号をご確認ください。CPI ツールへは、Documentation & Tools の下にある **Tools & Resources** リンクをクリックすることにより、Cisco Technical Support & Documentation Web サイトからアクセスできます。アルファベット順のドロップダウン リストから **Cisco Product Identification Tool** を選択するか、Alerts & RMAs の下にある **Cisco Product Identification Tool** リンクをクリックします。CPI ツールは、製品 ID またはモデル名、ツリー表示、特定の製品に対する show コマンド出力のコピー アンド ペーストという 3 つの検索オプションを提供します。検索結果には、シリアル番号のラベルの位置が強調表示された製品の説明図が表示されます。製品のシリアル番号のラベルを確認し、メモなどに控えてからサービス コールをかけてください。

Japan TAC Web サイト

Japan TAC Web サイトでは、利用頻度の高い TAC Web サイト (<http://www.cisco.com/tac>) のドキュメントを日本語で提供しています。Japan TAC Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

サポート契約を結んでいない方は、「ゲスト」としてご登録いただくだけで、Japan TAC Web サイトのドキュメントにアクセスできます。Japan TAC Web サイトにアクセスするには、Cisco.com のログイン ID とパスワードが必要です。ログイン ID とパスワードを取得していない場合は、次の URL にアクセスして登録手続きを行ってください。

<http://www.cisco.com/jp/register>

サービス リクエストの発行

オンラインの TAC Service Request ツールを使えば、S3 および S4 の問題について最も迅速にテクニカル サポートを受けられます (S3 : ネットワークに軽微な障害が発生した、S4 : 製品情報が必要である)。状況を入力すると、その状況を解決するための推奨手段が検索されます。これらの推奨手段で問題を解決できない場合は、シスコのエンジニアがサービス リクエストに対応します。TAC Service Request Tool には、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/techsupport/servicerequest>

S1 または S2 のサービス リクエストの場合、またはインターネットにアクセスできない場合は、Cisco TAC に電話でお問い合わせください (運営中のネットワークがダウンした場合、あるいは重大な障害が発生した場合)。S1 および S2 の問題には、シスコの技術者がただちに対応し、業務を円滑に継続できるよう支援します。

Cisco TAC の連絡先については、次の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/techsupport/contacts>

問題のシビラリティの定義

シスコでは、報告される問題を標準化するために、シビラリティを定義しています。

シビラリティ 1 (S1) 既存のネットワークがダウンした状態か、業務に致命的な損害が発生した場合。24 時間体制であらゆる手段を使用して問題の解決にあたります。

シビラリティ 2 (S2) 既存のネットワークのパフォーマンスが著しく低下したか、シスコ製品が十分に機能しないため、業務に重大な影響を及ぼした場合。通常の業務時間内にフルタイムで問題の解決にあたります。

シビラリティ 3 (S3) ネットワークのパフォーマンスが低下しているが、ほとんどの業務運用が機能している場合。通常の業務時間内にサービスの復旧にあたります。

シビラリティ 4 (S4) シスコ製品の機能、インストレーション、基本的なコンフィギュレーションについて、情報または支援が必要で、業務への影響がほとんどまたはまったくない場合。

その他の資料および情報の入手方法

シスコの製品、テクノロジー、およびネットワーク ソリューションに関する情報について、さまざまな資料をオンラインおよび印刷物で入手することができます。

- *Cisco Product Quick Reference Guide* は、ほとんどのシスコ製品に関する製品概要、主な機能、サンプル製品番号、および簡略形式の技術仕様が掲載された便利でコンパクトなリファレンスツールです。販売代理店から入手できます。シスコが提供する最新情報が収録されており、年に2回更新されます。*Cisco Product Quick Reference Guide* の詳細および注文方法については、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/guide>

- Cisco Marketplace では、シスコの書籍やリファレンス ガイド、マニュアル、ロゴ製品を数多く提供しています。購入を希望される場合は、次の URL にアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/marketplace/>

- *Cisco Press* では、ネットワーキング全般、トレーニング、および認定資格に関するさまざまな書籍を出版しています。これらの出版物は、初級者にも上級者にも役立ちます。*Cisco Press* の最新の出版物やその他の情報を調べるには、次の URL から *Cisco Press* にアクセスしてください。

<http://www.ciscopress.com>

- 『*Packet*』は、シスコが発行する技術者向けの雑誌で、インターネットやネットワークへの投資を最大限に活用するために役立ちます。本誌は季刊誌として発行され、業界の最先端トレンド、最新テクノロジー、シスコ製品やソリューション情報が記載されています。また、ネットワーク構成およびトラブルシューティングに関するヒント、設定例、お客様の事例研究、認定情報とトレーニング情報、および充実したオンライン サービスへのリンクといった内容が盛り込まれています。『*Packet*』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/packet>

日本語版『*Packet*』は米国版『*Packet*』と日本版のオリジナル記事で構成されています。日本語版『*Packet*』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/news/packet/>

- 『*iQ Magazine*』は、シスコのテクノロジーを使って収益の増加、ビジネス効率の向上、およびサービスの拡大を図る方法について学ぶことを目的とした、シスコシステムズが発行する成長企業向けの季刊誌です。本誌では、実際の事例研究や事業戦略を用いて、これら企業が直面するさまざまな課題や、問題解決の糸口となるテクノロジーを明確化し、テクノロジーの投資に関して読者が適切な判断を下せるように配慮しています。『*iQ Magazine*』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/iqmagazine>

また、デジタル版の『*iQ Magazine*』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://ciscoiq.texterity.com/ciscoiq/sample/>

- 『*Internet Protocol Journal*』は、インターネットおよびイントラネットの設計、開発、運用を担当する技術者向けに、シスコが発行する季刊誌です。『*Internet Protocol Journal*』には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/ipj>

- シスコが提供するネットワーキング製品、および各種のカスタマー サポート サービスには、次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/en/US/products/index.html>

- Networking Professionals Connection は、ネットワークの専門家が、シスコの専門技術者や他のネットワーク専門家と、ネットワーク製品やネットワーク技術に関する意見、疑問、提案、情報を交換できる対話型 Web サイトです。次の URL にアクセスしてディスカッションに参加してください。

<http://www.cisco.com/discuss/networking>

- シスコは国際的なレベルのネットワーク関連のトレーニングを実施しています。トレーニングの最新情報については、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/en/US/learning/index.html>



製品概要

この章では、Cisco Global Site Selector 4492R (GSS) の基本機能の概要と、ハードウェア、主なコンポーネント、前面および背面パネルのインジケータとコントロールについて説明します。

この章の内容は、次のとおりです。

- [はじめに](#)
- [システム ハードウェアの特長](#)
- [ポートおよびコネクタ](#)

はじめに

GSS は、サイト選択サービスを提供するネットワーク製品であり、インターネットおよびイントラネット データ センターを含めた環境で障害回復を行う上で重要な役割を果たします。GSS は、次のような SLB (サーバロード バランサ) によって管理されている、地理的に分散されたデータ センター間でトラフィックをグローバルに負荷分散します。

- Cisco CSS 11500、CSS 11000、または CSS 11150
- Catalyst 6500 シリーズ スイッチ用の Cisco コンテンツ スイッチング モジュール (CSM)
- Cisco LocalDirector
- Cisco IOS SLB

GSS は、このような分散型の構成における障害回復のための基盤となり、問題が発生した場合、すみやかにスタンバイ データ センターへユーザ トラフィックをルーティングすることによって、グローバル インターネットおよびイントラネット アプリケーションを高い信頼性で展開できるようにします。

GSS は、ネットワークの戦略的な拠点に配置します。GSS を他の SLB とともに配置した場合、GSS は主に次の 2 つの機能を実行します。

- Domain Name Server (DNS; ドメイン ネーム サーバ) インフラストラクチャで能動的な役割を果たし、要求された Web サイトをサポートする SLB にクライアントを接続します。
- ネットワーク上の SLB の負荷およびアベイラビリティを継続的に監視し、各クライアント要求に対応するために最適な SLB を選択します。

GSS は従来の DNS サーバから DNS 解決処理の負荷を軽減することにより、グローバルなサイト選択を最適化し、DNS の機能性を向上させます。GSS は、負荷およびアベイラビリティを監視することにより、大規模な Web サイトおよびデータ センターの耐障害性およびスケーラビリティを強化します。

システム ハードウェアの特長

GSS 4492R は、AC 入力電源を使用する設計になっており、AC 入力電源装置を 1 つ搭載しています。GSS 4492R には、次のコンポーネントが搭載されています。

- インテル 3.4 GHz Pentium D CPU
- 80 GB SATA ハードドライブ、7,200 RPM
- DVD-ROM ドライブ
- 内蔵デュアルポート イーサネット コントローラ。10 Mbps、100 Mbps、または 1000 Mbps ネットワークへの接続のためのインターフェイスを提供します。RJ-45 レセプタクル付きの 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-TX イーサネット ポートが 2 つあります。
- シリアル ポート

イーサネット ポートは両方とも、イーサネット LAN 上で、自動ネゴシエーション、全二重または半二重動作をサポートします。

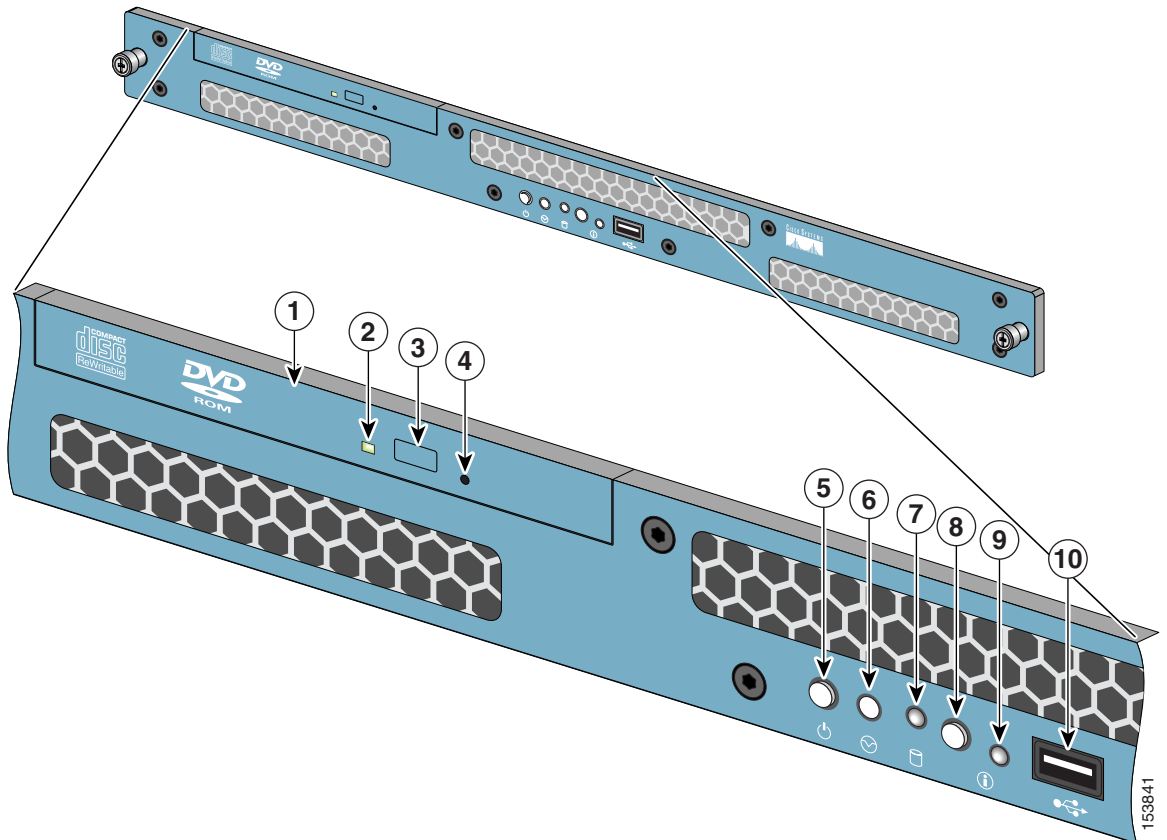
この項の構成は次のとおりです。

- [前面パネルの特長](#)
- [背面パネルの特長](#)

前面パネルの特長

GSS 4492R の前面パネルには、LED インジケータと電源ボタン、および DVD-ROM ドライブがあります。図 1-1 に、GSS 4492R の前面パネルを示します。

図 1-1 前面パネル

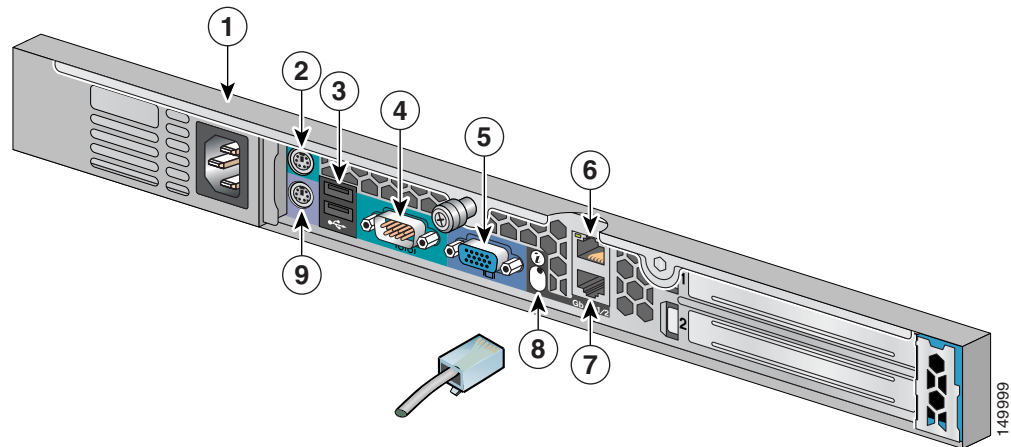


1	DVD-ROM ドライブ	8	システム ID ボタン。ラックにこの装置を含む多数の機器が搭載されている場合、このボタンを使用すると、背面側から装置の位置を確認できます。システム ID ボタンを押すと、装置の前面パネルと背面パネルでブルーのシステム ID インジケータが点滅します。
2	DVD-ROM 動作インジケータ	背面パネルのブルーのインジケータを点滅させるには、前面パネルのシステム ID ボタンを押します。点滅しているインジケータを消灯させるには、背面パネルのシステム ID ボタンを押します。	
3	DVD-ROM イジェクト ボタン		
4	DVD-ROM 緊急イジェクト ボタン	システム ID インジケータ。前面パネルまたは背面パネルのシステム ID ボタンを押すと、ブルーで点滅します。インジケータを消灯させるには、システム ID ボタンをもう一度押します。	
5	電源ボタン。電源インジケータが組み込まれています。インジケータが点灯している場合、シャーシの電源を切るにはこのボタンを押します。 グリーン = 電源オン オレンジ = スタンバイ モード 消灯 = 電源オフ		
6	NMI (Non Maskable Interrupt) ボタン。このボタンは埋め込まれており、通常動作時に、このプッシュ ボタンを使用して NMI を発生させる必要はありません。このボタンは、デバッグに使用します。	9	
7	ハードドライブの使用中は、ハードドライブインジケータが点滅します。	10	USB ポート (サポートされていません)

背面パネルの特長

背面パネルには、AC 電源レセプタクル、イーサネット コネクタ、およびコンソール / シリアル コネクタがあります。図 1-2 に、背面パネルのポートとコネクタを示します。

図 1-2 背面パネル



1	AC 電源レセプタクル	8	システム ID ボタン/システムステータス インジケータ。ラックにこの装置を含む多数の機器が搭載されている場合、このボタン/インジケータを使用して、前面側から装置の位置を確認できます。システム ID ボタンを押すと、装置の前面パネルと背面パネルでブルーのシステム ID インジケータが点滅します。
2	PS/2 マウス ポート (サポートされていません)	6	前面パネルのブルーのインジケータを点滅させるには、背面パネルのシステム ID ボタンを押します。点滅しているインジケータを消灯させるには、前面パネルのシステム ID ボタンを押します。
3	USB ポート (サポートされていません)		
4	コンソール / シリアル コネクタ (図 1-4 を参照)	7	PS/2 キーボード ポート (サポートされていません)
5	VGA ポート (サポートされていません)		
6	RJ-45 イーサネット 0 コネクタ。10/100/1000 Mbps 動作 LED とステータス LED が付属しています。		
7	RJ-45 イーサネット 1 コネクタ。10/100/1000 Mbps 動作	9	

ポートおよびコネクタ

GSS 4492R は、シャーシの背面側で次のポート コネクタをサポートします。

- イーサネット コネクタ
- コンソール ポート



警告

感電を防止するために、電話ネットワーク電圧 (TNV) 回線に安全超低電圧 (SELV) 回線を接続しないでください。LAN ポートには SELV 回線、WAN ポートには TNV 回線が含まれています。一部の LAN ポートと WAN ポートは、RJ-45 コネクタを使用しています。ケーブルを接続するときは、注意してください。警告文 1021

イーサネット コネクタ

GSS 4492R には、内蔵 10/100/1000 Mbps イーサネット コネクタが 2 つ付いています。イーサネット コントローラは、10 Mbps、100 Mbps、または 1000 Mbps ネットワークへの接続のためのインターフェイスを提供し、イーサネット LAN 上で自動ネゴシエーション、全二重または半二重動作をサポートします。

イーサネット ポートにアクセスするには、カテゴリ 3、4、または 5 の Unshielded Twisted-Pair (UTP; シールドなしツイストペア) ケーブルを、シャーシの背面にある RJ-45 コネクタに接続します。



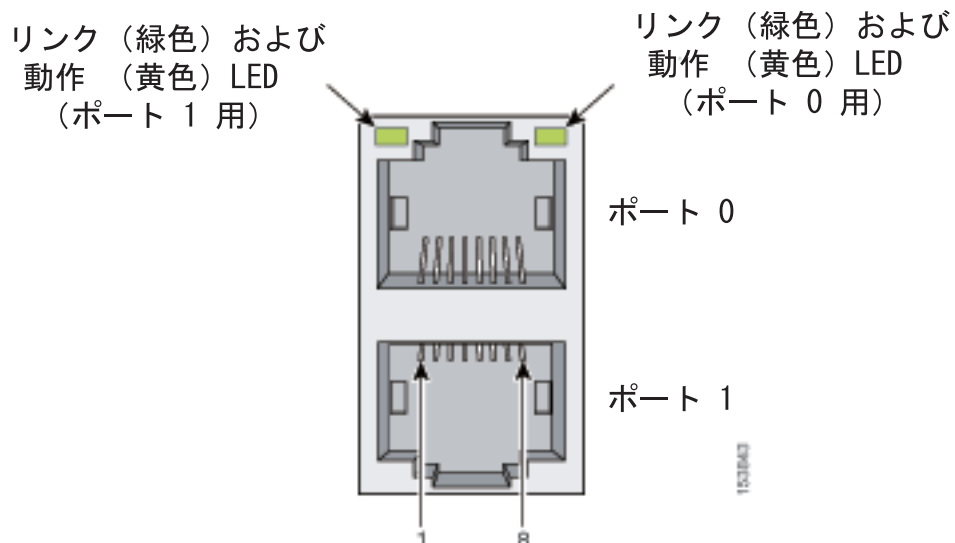
(注)

100BASE-TX/1000BASE-TX イーサネット規格では、標準的な 4 ツイストペア、カテゴリ 5e ケーブルを、最大距離 100m で使用するよう決められています。

図 1-3 に、イーサネット ポートの LED インジケータとイーサネット 1 RJ-45 ポートのピン番号の割り当てを示します。ポート 0 のピン番号の割り当ては逆になります。

イーサネット ポートの左上にある LED は、下側のイーサネット 1 ポートのインジケータです。この LED は、イーサネット リンクが接続されている状態ではグリーンで点灯し、ネットワーク動作が行われている状態ではイエローで点滅します。右上の LED は、上側にあるイーサネット 0 ポートのインジケータです。

図 1-3 イーサネット ポートのコネクタ



コンソールポート

GSS 4492R の背面パネルには、コンソールポートとして使用される、RS-232 シリアルポートが1つあります。内蔵シリアルポートは、9ピンオス型Dシェルコネクタを使用します。図1-4に、9ピンポートのピン番号の割り当てを示します。

コンソールポートコネクタのピン配列については、表1-1を参照してください。

図1-4 コンソールポートコネクタのピン番号

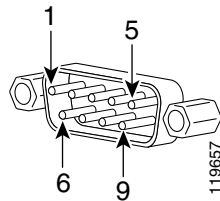


表1-1 コンソールポートコネクタのピン配列

ピン	信号	I/O	定義
1	DCD	I	データキャリア検出
2	SIN	I	シリアル入力
3	SOUT	O	シリアル出力
4	DTR	O	データターミナルレディ
5	GND	なし	信号アース
6	DSR	I	データセットレディ
7	RTS	O	送信要求
8	CTS	I	クリアツーセンド
9	RI	I	リングインジケータ
シェル	なし	なし	シャーシのアース

コンソールポートは、表1-2に示す設定で動作します。この表の設定をユーザが変更することはできません。

表1-2 GSS 4492R コンソールポートの設定

パラメータ	設定
ボーレート	9600
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
端末タイプ	VT100/ANSI
フロー制御	なし

RJ-45 - DB-9 または RJ-45 - DB-25 アダプタ

表 1-3 に、RJ-45 - DB-9 または RJ-45 - DB-25 アダプタへのケーブル ピン割り当てを示します。ローレル型 RJ-45 ケーブルをコンソール シリアル ポートに接続するには、DB-9 アダプタを使用します。ローレル型 RJ-45 ケーブルのもう一方の端を PC または端末のシリアル ポートに接続するには、DB-9 または DB-25 アダプタを使用します。

表 1-3 RJ-45 から DB-9 または DB-25 へのケーブル ピン割り当て

信号	RJ-45 のピン	DB-9 または DB-25 のピン
RTS	8	8
DTR	7	6
TxD	6	2
GND	5	5
GND	4	5
RxD	3	3
DSR	2	4
CTS	1	7



設置の準備

この章には、GSS 4492R を扱う前に確認しておく必要がある安全に関する重要な情報が記載されています。次のガイドラインに従って、担当者自身の安全を確保し GSS 4492R の損傷を防止してください。

GSS 4492R の設置準備を行う前に、Cisco Global Site Selector 4492R の『*Regulatory Compliance and Safety Information*』をお読みください。

この章の内容は、次のとおりです。

- [安全](#)
- [設置場所の準備](#)
- [ラックマウントに関する注意事項](#)
- [モデム、通信、または LAN オプションを使用する製品についての注意事項](#)
- [必要な工具および装置](#)

安全

この項では、GSS 4492R の設置の安全に関する情報を提供します。この項の構成は次のとおりです。

- [警告と注意](#)
- [一般的な注意事項](#)
- [電気に関する安全の管理](#)
- [静電放電に対する保護](#)

警告と注意

このマニュアルの設置手順を読んでから、GSS 4492R を電源に接続してください。このガイドラインを読まないで作業を開始したりガイドラインを無視して作業を行ったりすると、設置が失敗したり、GSS 4492R やコンポーネントを壊してしまうことがあります。

電源または電話配線に接続する機器を取り扱う際には、安全のために次のガイドラインに従ってください。このガイドラインに従うことにより、担当者自身の安全を確保し GSS 4492R の損傷を防止することができます。



(注)

このマニュアルの英語で書かれた警告には、警告文番号が付けられています。各国の言語の警告を参照するには、アプライアンスに添付されたCisco Global Site Selector 4492Rの『*Regulatory Compliance and Safety Information*』の警告番号を調べてください。

次の警告と注意は、担当者自身の安全の確保と装置の損傷防止を目的としています。



警告

安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。各国の言語に翻訳された安全に関する警告文については、各警告の最後に記載されている警告文番号を使用して見つけてください。警告文 1071

これらの注意事項は保存しておいてください。



警告

機器の設置は、地域と各国の電気法令に従って行う必要があります。警告文 1074



警告

安全カバーは、製品の重要な一部です。機器を操作する場合は、必ず、保護カバーを装着して行ってください。保護カバーを装着せずに機器を操作すると、安全承認が無効になり、火災や感電の危険があります。警告文 117

**警告**

この装置はアース接続する必要があります。絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技師に確認してください。警告文 1024

**警告**

シャーシの作業を行うとき、または電源装置の付近で作業をするときは、事前に AC 装置から電源コードを外してください。DC 装置の場合は、回路ブレーカーで電源を切断します。警告文 12

**警告**

装置を開くときは、電話網電圧との接触を防ぐために、事前に電話回線を取り外してください。警告文 1041

**警告**

このユニットには複数の電源コードが使用されていることがあります。感電を防止するために、機器を保守する前にすべての電源コードを外してください。警告文 106

**警告**

この製品は、設置する建物にショート（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。一般および地域の電気規格に適合するように設置する必要があります。警告文 1045

**警告**

この装置は、放射イミュニティ要件に適合するようにアースされていることが前提になっています。通常の使用時には必ず装置がアースされているようにしてください。警告文 1064

**警告**

ブランクの前面プレートおよびカバー パネルには、3つの重要な機能があります。シャーシ内の危険な電圧および電流による感電を防ぐこと、他の装置への EMI（電磁波干渉）の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の空気の流れを適切な状態に保つことです。必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーをスロットに正しく取り付けられた状態で、システムを運用してください。警告文 1029

**警告**

雷が発生しているときには、システムに手を加えたり、ケーブルの接続や取り外しを行わないでください。警告文 1001



警告

装置の電源回路では、危険な高電圧が発生する可能性があります。機器を設置したり、交換したりする前に、すべての貴金属類（指輪、首飾り、腕時計など）を外してください。金属物が機器内の電源の配線や回路に接触することがあります。このため金属物が熱くなり、重度のやけどを負ったりや金属物が機器に溶着したりすることがあります。警告文 207



警告

この製品を廃棄処分する際は、各国の法律または規制に従って取り扱ってください。警告文 1040



警告

オン/オフスイッチのあるシステムで作業を始める場合、はじめに電源スイッチをオフにし、電源コードのプラグを抜いてください。警告文 1



警告

必ず設置手順を読んでから、システムを電源に接続してください。警告文 1004



警告

不適切なバッテリーに交換すると、爆発の危険性があります。バッテリーを交換するときは、必ず、純正部品を使用してください。バッテリーを廃棄するときは、メーカーの指示に従って処分してください。警告文 1015

一般的な注意事項

GSS 4492R の使用および取り扱いに際しては、次の一般的な注意事項に従ってください。

- GSS 4492R コンポーネントは、ラジエータや熱源の近くに置かないでください。また、通気口をふさがないでください。
- GSS 4492R コンポーネントに飲食物をこぼさないでください。湿度の高い場所では製品を使用しないでください。GSS 4492R が濡れた場合は、第4章「[GSS 4492R ハードウェアのトラブルシューティング](#)」を参照するか、Cisco Technical Assistance Center に連絡してください。Technical Assistance Center への連絡方法については、「[テクニカルサポート](#)」(xiv ページ)を参照してください。
- GSS 4492R コンポーネントの開口部に異物を差し込まないでください。内部のコンポーネントがショートして、火災または感電事故を引き起こす可能性があります。
- ケーブルおよび電源コードの配線に注意してください。ケーブルおよび電源コードは、すべて踏んだり、これらにつまずいたりしないような配線にしてください。GSS 4492R のケーブルまたは電源コードに、物を載せないでください。
- 電源コードまたはプラグを改造しないでください。設置場所の変更については資格のある電気技術者または電力会社にご相談ください。国および地域の配線規格に必ず従ってください。
- システム ボードの損傷を防止するために、システム ボードのコンポーネントを取り外す場合や GSS 4492R の周辺機器の接続を切断する場合は、GSS 4492R の電源を切ったあと 5 秒間待ってから作業を開始してください。

電気に関する安全の管理

電力を使用する装置を取り扱う際は、次のガイドラインに従ってください。

- 危険を伴う作業は、一人では行わないでください。
- 回路の電源が切断されていると思わず、必ず回路を確認してください。
- 床が濡れていないか、アースされていない電源延長コードや、擦り切れた電源コード、保護アースの不備がないかなど、作業場所の安全を十分に確認してください。
- 電気事故が発生した場合は、次の手順に従ってください。
 - 自分自身に被害が及ばないように注意してください。
 - システムの電源を切断してください。
 - 可能であれば、別の人に頼んで医療処置のできる人を呼んできてもらいます。それができない場合は、被害者の状況を見極めて救助を要請してください。
 - 被害者に人工呼吸または心臓マッサージが必要かどうかを判断し、適切な処置を施してください。
- 製品は、記載されている電源定格および製品使用に関する注意事項を守って使用してください。
- 製品の設置は、地域および各国の電気関連法規に従って行ってください。
- 次のような場合には、Cisco Technical Assistance Center までご連絡ください。
 - 電源コードまたはプラグが破損した場合
 - 製品に異物が入り込んだ場合
 - 製品に水がかかった場合
 - 製品を落下または破損させた場合
 - 操作手順に従っているにもかかわらず製品が正常に動作しない場合
- 適切な外部電源を使用してください。電気定格ラベルに記載されたタイプの電源だけを使用してください。必要な電源のタイプが定かでない場合には、Cisco Technical Assistance Center または電力会社までお問い合わせください。
- 認定された電源コードだけを使用してください。ご使用の GSS 4492R には、GSS 4492R 用の電源コード（出荷場所ベースで、ユーザの国での使用が許可されているコード）が付属しています。電源コードを購入しなければならない場合は、製品の電気定格ラベルに記載された電圧および電流に対応する電源コードかどうかを確認してください。ケーブルの電圧および電流定格は、製品に記載されている定格より大きいものでなければなりません。
- 感電事故を防ぐために、GSS 4492R、コンポーネントおよび周辺機器の電源コードは、適切にアースされたコンセントに接続してください。これらの電源コードは三つ又プラグを備えており、適切なアースを確保します。アダプタ プラグを使用したり、コードからアース突起を取り除いたりしないでください。
- 延長コードおよび電源ストリップの定格に注意してください。延長コードまたは電源ストリップに接続するすべての製品の総アンペア数が、延長コードまたは電源ストリップのアンペア定格の 80% を超えないことを確認してください。
- 電力の急激な変動から GSS 4492R およびコンポーネントを保護するには、サージ サプレッサ、ライン コンディショナ、または Uninterruptible Power Supply（UPS; 無停電電源装置）を使用してください。
- 電源コードまたはプラグを改造しないでください。設置場所の変更については資格のある電気技術者または電力会社にご相談ください。国および地域の配線規格に必ず従ってください。

静電放電に対する保護

静電気によって製品内部のコンポーネントが損傷を受ける場合があります。静電気による損傷を防ぐには、マイクロプロセッサなど、製品の電子部品に触れる前に、必ず自分の体から静電気を放電してください。静電気を放電するには、装置のシャーシの塗装されていない金属面に触れます。

シャーシを開いた状態で作業を続ける間、塗装されていない金属面に定期的に触れて、身体内に蓄積した静電気を逃がしてください。

Electrostatic Discharge (ESD; 静電放電) の影響を受けやすい部品の取り扱いは、接地された静電気防止用の作業台 (静電気防止用のワークベンチや静電気を散逸させるマットなど) にある承認済みの静電気保護ステーションでのみ行います。

また、次の手順で ESD (静電放電) を防止することもできます。

- 静電気の影響を受けやすい部品を箱から取り出すときは、コンピュータにその部品を取り付ける準備が整うまで、静電気防止用の梱包材から部品を取り出さないでください。静電気防止用の梱包材から部品を取り出す直前に、身体の静電気を取り除いてください。
- 静電気の影響を受けやすい部品を輸送する場合は、静電気防止用容器または静電気防止用の梱包材に部品を収めてください。
- 静電気の影響を受けやすい部品の取り扱いは、静電気防止対策が講じられた場所で行ってください。可能であれば、静電気防止用のフロアパッドおよびワークベンチパッドを使用してください。

シャーシ内でコンポーネントの取り外しと取り付けを行うには、次の手順を実行します。

ステップ 1 作業場所から静電気の発生源をすべて取り除きます。

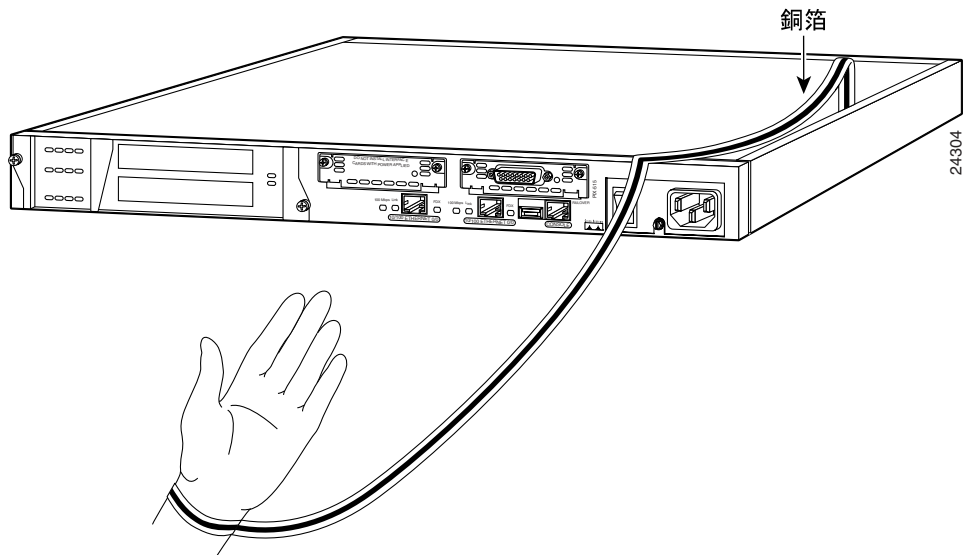
ステップ 2 静電気防止用の作業台とリストストラップを使用します。



(注) アップグレード部品に一般に付属している使い捨て式のリストストラップは、一度しか使用しないことを前提に設計されています。

ステップ 3 リストストラップを手首と作業台のターミナルに装着します。使い捨て式のリストストラップを使用している場合は、リストストラップをシャーシの塗装されていない金属面に直接接続します (図 2-1 を参照)。

図 2-1 例：シャーシと ESD 防止用のリストストラップを利用して静電気をアースに流す



ステップ 4 アース ケーブルとワニ口クリップを使用して、作業台をシャーシに接続します。



注意

コンポーネントの取り外し、交換、または修理を行う場合は、必ず、ESD 対策の手順に従ってください。

設置場所の準備

この項では、GSS 4492R を安全に設置し稼働させるために満たさなければならない設置環境の条件について説明します。GSS 4492R の設置場所を選定する前に、付録 A「仕様」に掲載されている電源、環境、および物理要件を確認してください。設置開始前に、設置場所が正しく準備されていることを確認してください。

この項では、次の設置環境の条件について説明します。

- 環境条件
- 設置場所の選定
- 過電流保護
- GSS 4492R の接地
- 安全な環境の構築
- AC 電源
- ケーブル接続

環境条件

設置場所のレイアウトや装置の配置を決めるときは、機器の故障、および設置環境が原因となるシャットダウンを防止するために、この項に記載されている注意事項に従ってください。既存の装置がシャットダウンしたり、エラーの発生頻度が極端に高い場合には、ここで説明する注意事項を確認することによって、問題の原因を突き止め、今後の問題の発生を防止することができます。

GSS 4492R の動作環境を計画する際は、次の注意事項に従ってください。

- 必ず、「[静電放電に対する保護](#)」の項で説明した ESD 対策の手順に従い、装置が損傷しないようにしてください。静電気放電による被害により、装置が即座に故障したり断続的に障害が発生したりすることがあります。
- シャーシのカバーが正しく装着されていることを確認してください。シャーシは、冷却用の空気が内部を効率的に流れるような構造になっています。シャーシのカバーを空けたままにしておくと空気が漏れ出し、内部コンポーネントに当たるはずの冷気が遮断されたり、流れが変化したりすることがあります。
- 電気装置は熱を発生させます。空気の循環が適切でない場合、周囲の気温が、装置を仕様にした動作温度まで冷却するのに適当でないことがあります。システムを運用する部屋に、適切な空気循環があることを確認してください。

設置場所の選定



警告

この装置は立ち入り制限区域内に設置することが前提になっています。立ち入り制限区域とは、保守担当者が特殊なツール、鍵と錠、またはその他のセキュリティ手段を使用しなければ入ることができず、権限のある責任者によって管理されている場所です。警告文 1017

設置場所を選定する際は、次のガイドラインに従ってください。

- 乾燥し、清潔で、通気がよく、空調の効いた場所を選んでください。
- 0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の周囲温度を維持できる場所を選択してください。

過電流保護

GSS 4492R は、ショート、過電流、およびアース障害に対する対策を、建物に設置されている保護装置に頼っています。建物の保護装置の定格が GSS 4492R を保護できるものであることと、国および各自治体の法規に準拠していることを確認してください。

GSS 4492R の接地



警告

この装置はアース接続する必要があります。絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技師に確認してください。警告文 1024

安全な環境の構築

安全な稼働環境を構築するには、次のガイドラインに従ってください。

- 工具およびシャーシのコンポーネントは、床の上や歩行の妨げになる場所には置かないでください。
- 床が濡れていないか、アースされていない電源延長コードや保護アースの不備などがないかどうかなどをチェックし、作業場所の危険はすべて取り除いてください。
- シャーシの周囲は、ほこりや外部からの導体材料（近隣の建設現場から出る金属片など）がないように保つ必要があります。

AC 電源

いつでも装置の電源を切断できるように、プラグおよびソケットにすぐに手が届く状態にしておいてください。GSS 4492R の電源要件については、付録 A「仕様」を参照してください。



警告

この製品は、設置する建物にショート（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。一般および地域の電気規格に適合するように設置する必要があります。警告文 1045

電源に関するガイドライン

電源に関する次のガイドラインに従ってください。

- シャーシを設置する前に設置場所の電源を調べ、スパイクやノイズのない電源であることを確認してください。必要に応じて、電力調整器を設置して、供給電源の電圧と電力レベルを一定に保ってください。
- 雷や電圧のサージによる損傷を防止するために、設置場所は正しくアースしてください。
- シャーシには、ユーザが選択できる動作範囲はありません。正しい AC 入力電源の要件については、シャーシのラベルを参照してください。
- AC 入力電源コードにはいくつかの種類があります。設置場所に合った正しいタイプを選んでください。
- 設置場所に UPS を取り付けてください。

ケーブル接続

GSS 4492R のコンソールポートを、コンソールプログラムを実行するコンソールまたはコンピュータに接続するには、アクセサリキットに入っているケーブルを使用してください。コンソールケーブルの他に、付属の標準イーサネットケーブルを使用して GSS 4492R をネットワークに接続してください。ケーブルの要件については、第 1 章「製品概要」を参照してください。

ラックマウントに関する注意事項



警告

この装置をラックに設置したり保守作業を行ったりするときは、人身事故を防ぐため、システムが安定しているかどうかを十分に確認する必要があります。次の注意事項に従ってください。

- ラックにこの装置を単独で設置する場合は、ラックの一番下に設置します。
- ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上に設置します。
- ラックに安定器具が付属している場合は、その安定器具を取り付けてから、装置をラックに設置するか、またはラック内の装置の保守作業を行ってください。警告文 1006



(注)

コンポーネントとは、サーバ、ストレージ システム、アプライアンス、および各種の周辺機器や補助的ハードウェアを意味します。

ラックの安定性と安全を確保するため、次の注意事項に従ってください。さらに、ラックに添付された設置マニュアルを参照し、記載されている警告と注意事項、および手順を確認してください。

- 大型ラックは、一人で移動しないでください。ラックの高さおよび重量により、最低2人で移動する必要があります。
- ラックからコンポーネントを引き出す前に、ラックが水平で、安定して設置されていることを確認してください。
- ラックに電力を供給する AC 電源分岐回路が過負荷にならないように注意してください。ラック全体の負荷が回路の定格電流の 80% を超えないようにしてください。
- ラック内のシステムおよびコンポーネントの保守作業をするときは、他のシステムまたはコンポーネントを踏み台にしないでください。
- ラックにこの装置を単独で設置する場合は、ラックの一番下に設置します。
- ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上に設置します。
- ラックに安定器具が付属している場合は、その安定器具を取り付けてから、装置をラックに設置するか、またはラック内の装置の保守作業を行ってください。
- 閉鎖型ラックには、適切な通気が必要です。各シャーシは熱を発生させるため、ラックが過密にならないようにします。閉鎖型ラックには、冷却空気を供給するために、ルーバー付きの側面とファンが必要です。
- オープンラックにシャーシを搭載する場合は、ラックのフレームが吸気口や排気口をふさがないことを確認します。シャーシをスライドに取り付ける場合は、シャーシがラックに完全にはまったときに位置を確認します。
- 通気ファンが上部にある閉鎖型ラックの場合、ラックの底部付近で装置が発する過度の熱は上方に送られ、ラック内のその装置の上にある装置の吸気口に送られる可能性があります。必ず、ラックの底部で、装置に対して適切な通気が行われるようにしてください。
- バッフルは、排気と吸気を分離するのに役立つことがあります。また、冷却空気をシャーシに取り込むのに役立つこともあります。バッフルの最適な配置は、ラック内のエアフローのパターンによって異なります。さまざまな配置を試して、バッフルを効果的に配置してください。

モデム、通信、または LAN オプションを使用する製品についての注意事項

モデム、通信、LAN オプションを取り扱う場合には、次のガイドラインに従ってください。

- 雷が発生しているときは、モデムまたは電話の接続や使用は避けてください。雷により感電する恐れがあります。
- 湿気の多い環境でのモデムまたは電話の接続や使用は避けてください。
- モデム ケーブルまたは電話線を、イーサネット コネクタに接続しないでください。
- シャーシを開いたり、内部コンポーネントを取り扱ったり、絶縁されていないモデム ケーブルまたはジャックに触れる場合には、事前にモデム ケーブルを取り外してください。
- ガス漏れが発生した場合には、ガス漏れの通報に現場付近の電話回線を使用しないでください。

必要な工具および装置

Cisco Global Site Selector 4492R を取り付けるには、次の工具および装置が必要です。

- No.2 プラス ドライバ
- メジャーおよび水準器
- 静電気防止用マットまたはフォーム
- 静電気防止用ストラップとワニ口クリップ



GSS 4492R の設置

この章では、GSS 4492R を装置ラックに設置する方法について説明します。また、ケーブル、AC 電源の接続手順、GSS 4492R の起動手順についても説明します。



警告

必ず設置手順を読んでから、システムを電源に接続してください。警告文 1004

この章の内容は、次のとおりです。

- [GSS 4492R の開梱と同梱品の確認](#)
- [GSS 4492R の設置](#)
- [ケーブルの接続](#)
- [AC 電源の接続](#)
- [GSS 4492R の起動](#)
- [シリアル コンソール接続の確立](#)
- [前面パネルの LED のチェック](#)
- [GSS 4492R の取り外しまたは交換](#)

設置を開始する前に、次の章および付録を読んでおいてください。

- [第 2 章「設置の準備」](#)
- [Cisco Global Site Selector 4492R の適合認定および安全に関する注意事項](#)

GSS 4492R の開梱と同梱品の確認

配送される GSS 4492R には、次の品目が入っています。

- RJ-45 to メス型 25 ピン D サブ コネクタ (1)
- RJ-45 to メス型 9 ピン D サブ コネクタ (2)
- RJ-45 ロール型 (コンソール) ケーブル (1)
- 4 支柱ラック用マウントキット (1)
- Cisco Product Documentation CD-ROM および保証関連書類パック
- *Cisco Global Site Selector 4492R の適合認定および安全に関する注意事項*

GSS 4492R は、輸送用の保護カートンに入れて出荷されます。また、完全独立シャーシとして出荷されるため、追加できるコンポーネントや取り外しできるコンポーネントはありません。

GSS 4492R の開梱手順は、次のとおりです。

1. 輸送用カートンから、GSS 4492R のアクセサリを取り出します。あとで GSS 4492R を再梱包しなければならないこともあります。梱包材は保管しておいてください。
2. 梱包票に示されている品目と、GSS 4492R とアクセサリの構成を照合します。不一致が見つかった場合は、「製品に破損が見つかった場合」の説明に従って報告してください。
3. GSS 4492R の設置を開始する前に、第2章「設置の準備」の説明をよく読んでください。

製品に破損が見つかった場合

輸送中に装置の一部やコンポーネントが破損している場合は、ただちに輸送業者に製品の検査と破損状況報告書の準備を依頼します。内容の確認が終わるまでは、梱包箱とすべての梱包材を保管してください。

同時に、カスタマー サービスに、破損の内容と程度を報告します。カスタマー サービスには、問題や欠品だけでなく、型番およびシリアル番号を連絡してください。この情報の受領後、ユーザに保守の指示、または RMA (Return Materials Authorization; 返品許可) 番号と輸送情報が提供されます。技術サポートを受ける場合は、「テクニカル サポート」(xiv ページ)を参照してください。

GSS 4492R の設置

この項では、Cisco Global Site Selector 4492R を 4 支柱ラックに設置するための手順を説明します。装置を設置するラックは床や、天井、壁上部、さらに該当する場合は隣のラックに正しく固定されていなければなりません。ラックは、業界の規格に準拠する床および壁用止め金具や押え金具を使用して固定してください。

ラックには、垂直方向に 1.75 インチ (4.44cm) 単位の日盛りが付いています。各単位は、ラックユニット (RU) と呼ばれます。1RU の装置の高さは、1.75 インチ (4.44cm) です。

**警告**

この装置の設置、交換、保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。警告文 1030

**警告**

この装置をラックに設置したり保守作業を行ったりするときは、人身事故を防ぐため、システムが安定しているかどうかを十分に確認する必要があります。次の注意事項に従ってください。

- ラックにこの装置を単独で設置する場合は、ラックの一番下に設置します。
- ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上に設置します。
- ラックに安定器具が付属している場合は、その安定器具を取り付けてから、装置をラックに設置するか、またはラック内の装置の保守作業を行ってください。警告文 1006

GSS 4492R をラックに設置する前に、必ず、第 2 章「設置の準備」を読んで、設置場所と環境の条件を把握しておいてください。このガイドラインを読まないで作業を開始したりガイドラインを無視して作業を行ったりすると、設置が失敗したり、GSS 4492R やコンポーネントを壊してしまうことがあります。GSS 4492R を設置および保守する際は、次の手順を実行してください。

GSS 4492R の設置および保守の際の手順

- GSS 4492R の設置を開始する前に、すべての電源コードおよび外付けケーブルを外してください。
- GSS 4492R の設置は、地域および各国の電気関連法規に従って行ってください。
 - 米国の場合：National Fire Protection Association (NFPA) 70; United States National Electrical Code
 - カナダの場合：Canadian Electrical Code, Part, I, CSA C22.1.
 - その他の国の場合：地域および国別の電気関連法規がない場合は、IEC 364 の Part 1 ~ Part 7 を参照してください。
- 危険を伴う作業は、一人では行わないでください。
- 人身事故や装置障害を引き起こす可能性のある作業は行わないでください。
- 所定の位置に固定されていないラックに、Cisco Global Site Selector 4492R を設置しないでください。GSS 4492R の損傷や人身事故につながる可能性があります。
- GSS 4492R は大型で重量もあります。一人で設置しないでください。

装置をラックに設置する際の安全に関する情報は、第 2 章「設置の準備」および「ラックマウントに関する注意事項」(2-10 ページ)にも掲載されています。

GSS 4492R は、システム ラックの 1U スペースに設置できます。図 3-1 に、ラック レールのコンポーネントを示します。

図 3-1 ラック レールのコンポーネント



1	右側の伸縮レール	4	丸頭ネジ (2)
2	左側の伸縮レール	5	ケージナット (10)
3	ワッシャ付き丸頭ネジ (8)		

4 支柱ラックへの GSS 4492R の設置手順は、次の 3 つの段階で構成されます。

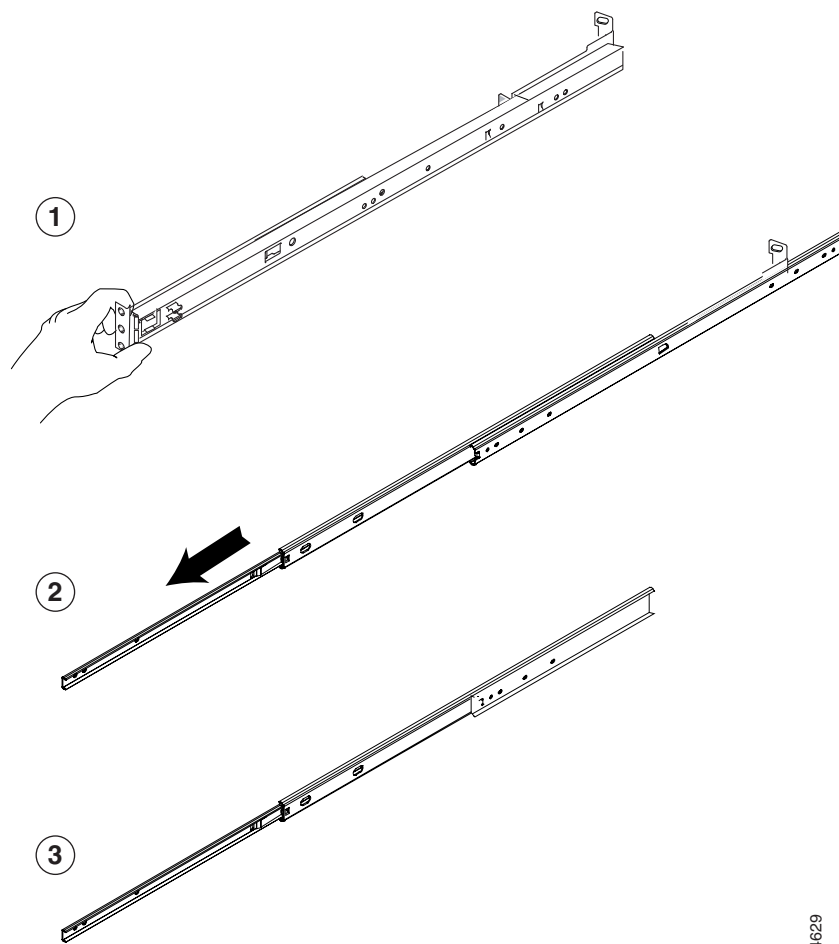
- シャーシ レール マウントを取り付ける、3-5 ページ
- サーバ レールを取り付ける、3-8 ページ
- ラック上でシャーシをスライドさせる、3-11 ページ

シャーシ レール マウントを取り付ける

次の各手順の説明に従って、まず、サーバ レールからシャーシ レール マウントの部分を取り外して、シャーシに取り付けてください。

- ステップ 1** 図 3-2 を参照してください。サーバ レールを可能なところまで引き延ばします。サーバ レールを完全に延ばすと、レールは引き出された位置でロックされます。

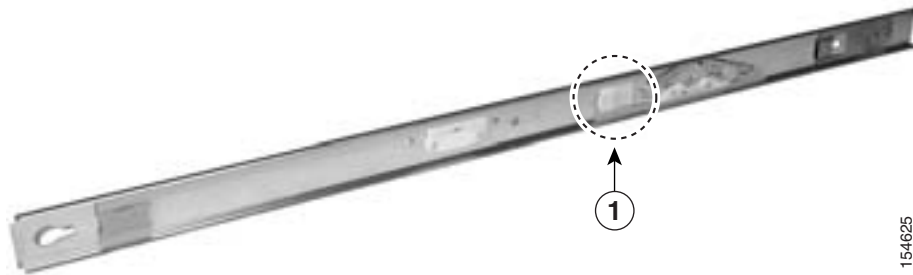
図 3-2 シャーシ レール マウントを取り外す



154629

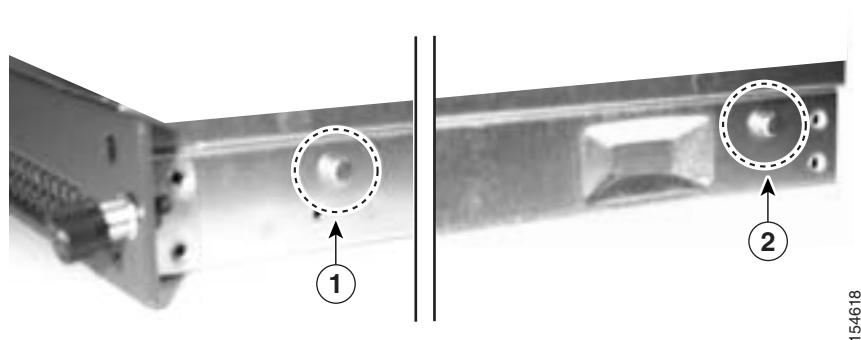
ステップ2 図 3-3 を参照してください。ホワイトのタブ (1) を矢印の方向にスライドさせて、シャーシ レール マウント部分を伸ばします (次の手順でシャーシに取り付けますので、その場に残しておいてください)。

図 3-3 シャーシ レール マウント リリース タブをスライドさせる



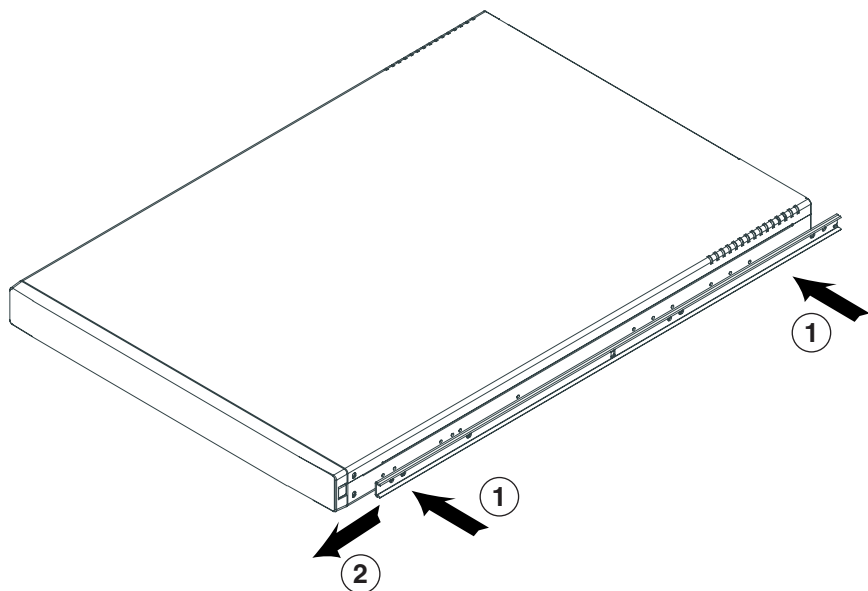
ステップ3 シャーシ レール マウントの穴をシャーシの突起に合わせます (図 3-4 の 1 および 2)。

図 3-4 シャーシ レール マウントの位置をシャーシに合わせる



ステップ 4 図 3-5 を参照してください。穴の位置を合わせて (1) レールをスライドさせ所定の位置に固定します (2)。

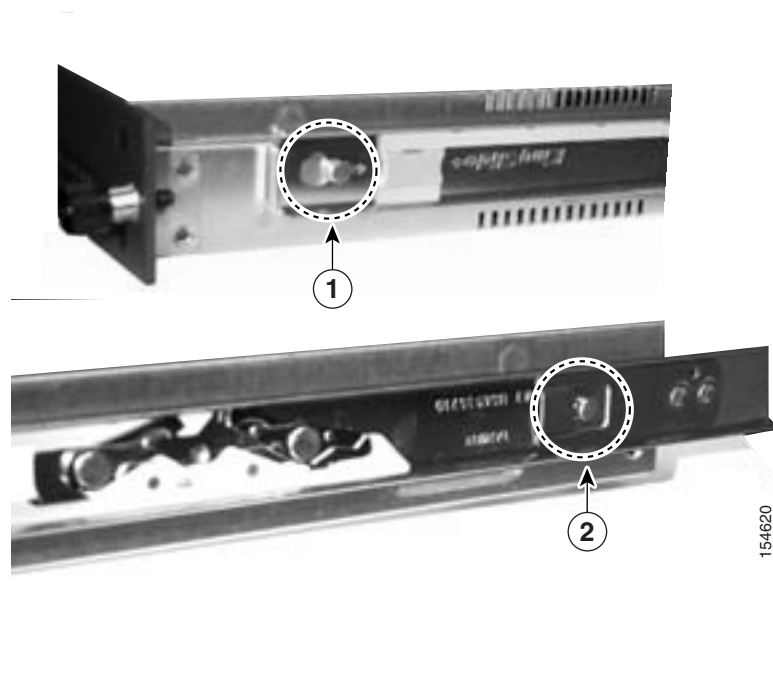
図 3-5 シャーシ レール マウントをシャーシに取り付ける



154621

図 3-6 に、所定の位置に固定されたシャーシ レール マウントを示します。

図 3-6 所定の位置に固定されたシャーシ レール マウント



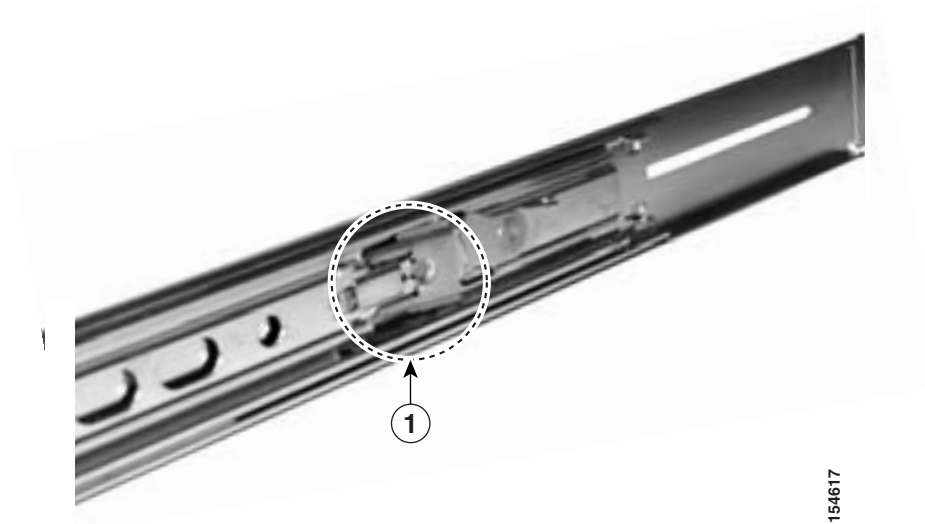
154620

サーバレールを取り付ける

シャーシ レール マウントを取り付けたら、前の手順で引き延ばしたサーバレールを元の長さに戻して、ラックに取り付けます。サーバレールをすでに元の長さに戻している場合は、[ステップ2](#)に進んでください。

- ステップ1** サーバレールのアームを元の長さに戻すには、[図3-7](#)に示されているタブを押します。タブを押したら、アームをスライドさせて元に戻してください。

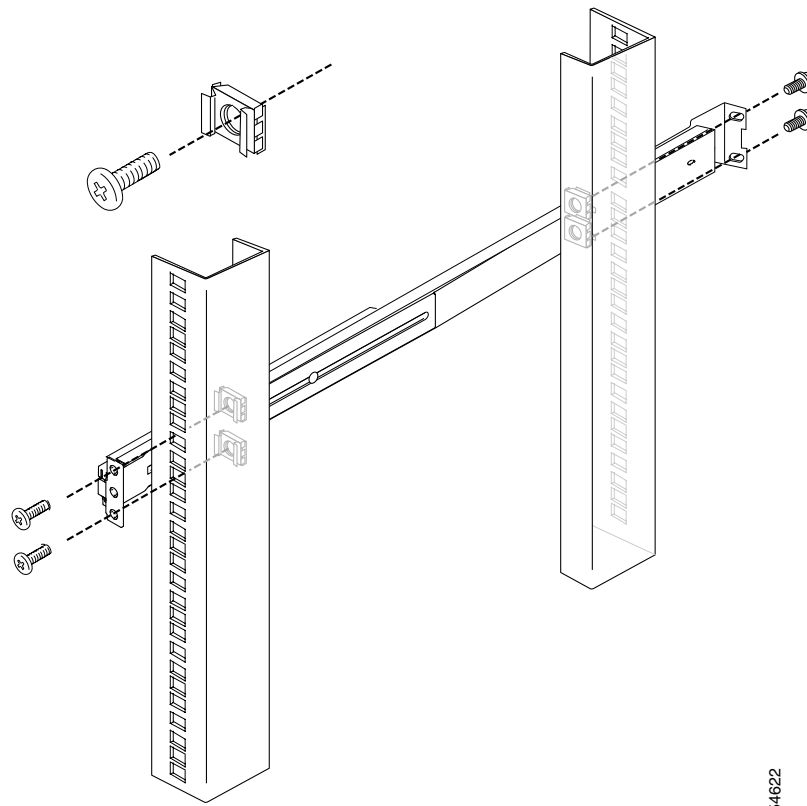
図3-7 サーバレールを元の長さに戻す



- ステップ2** ご使用のラックに対応する図を参照して、サーバレールをラックに取り付けます。

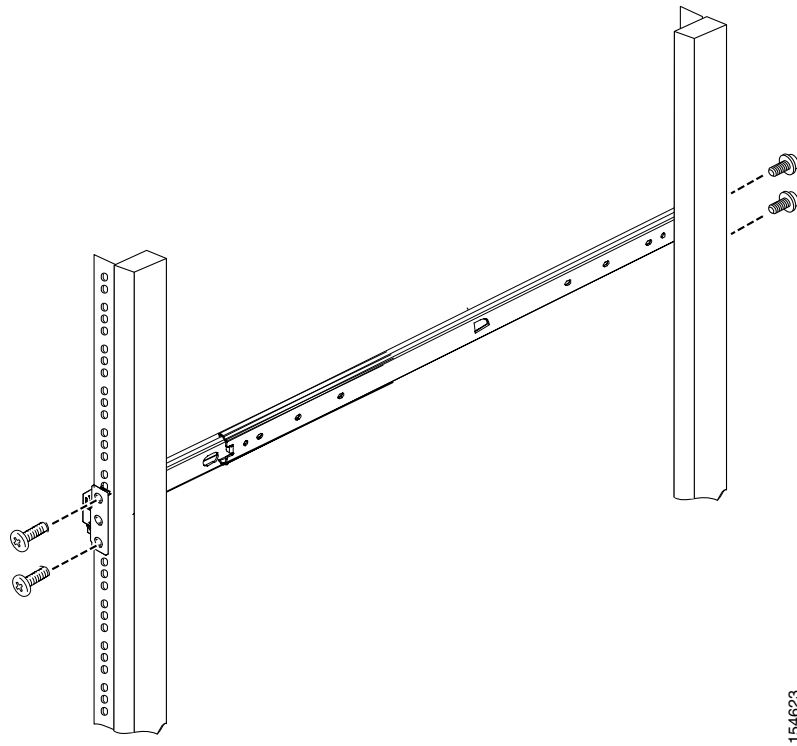
- 角穴のラックの場合は、[図3-8](#)を参照してください。
- 丸穴のラックの場合は、[図3-9](#)を参照してください。

図 3-8 角穴のラックにレールを取り付ける



154622

図 3-9 丸穴のラックにレールを取り付ける



ステップ 3 もう 1 本のレールとラック アセンブリを使用してこの手順を繰り返します。



(注) レールをラックに固定するまではブラケットを締め付けしないでレールとの間に少し余裕を持たせておくと、レールをラックに固定し易くなります。ネジは、レールをラックに取り付けたあとで締めることができます。

ラック上でシャーシをスライドさせる

シャーシをスライドさせてラックに設置する手順は、次のとおりです。

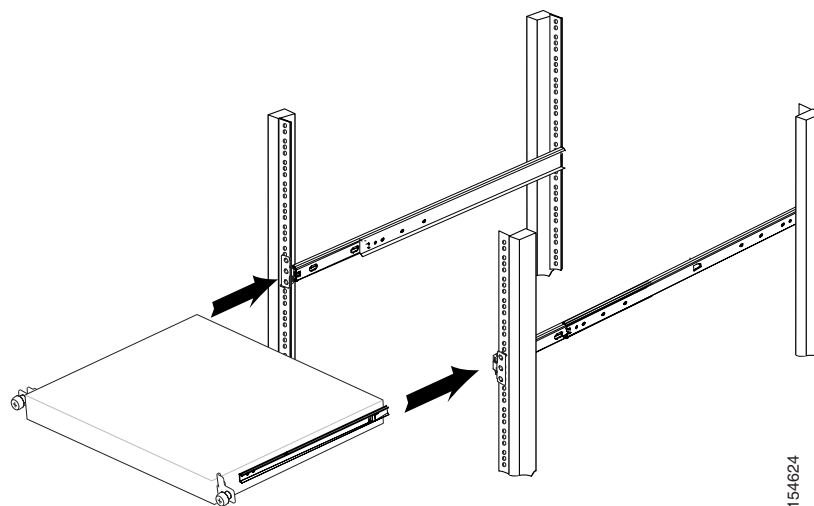
- ステップ 1** 図 3-10 を参照してください。シャーシ レール マウントのブルーのプラスチック製タブを矢印の方向にスライドさせてそのまま固定しておきます。これにより、シャーシ レール マウントをスライドさせてレールに押し込めるようになります。

図 3-10 シャーシ レール マウントの張り出したタブをスライドさせる



- ステップ 2** シャーシをラックに押し込みます。図 3-11 を参照してください。

図 3-11 シャーシをスライドさせてラックに押し込む



伸縮レール内で、シャーシを前後に数回スライドさせます。すべてのネジを締めて固定します。



警告

この製品は設置する建物にショート(過電流)保護機構が備わっていることを前提に設計されています。保護装置の定格が、120 VAC、15A (米国/カナダ)または240VAC、10A (国際)を超えていないことを確認してください。警告文 1005

ケーブルの接続



警告

雷が発生しているときには、システムに手を加えたり、ケーブルの接続や取り外しを行わないでください。警告文 1001

GSS 4492R にネットワーク ケーブルおよびコンソール ケーブルを接続する手順は、次のとおりです。

1. ネットワーク接続の場合は、カテゴリ 3、4、または 5 Unshielded Twisted-Pair (UTP; シールドなしツイストペア) ケーブルを、GSS 4492R の背面パネルのイーサネット 0 またはイーサネット 1 コネクタに接続します (図 1-2 を参照)。



(注)

100BASE-TX/1000BASE-TX イーサネット規格では、標準的な 4 ツィストペア、カテゴリ 5e ケーブルを、最大距離 100m で使用するように決められています。

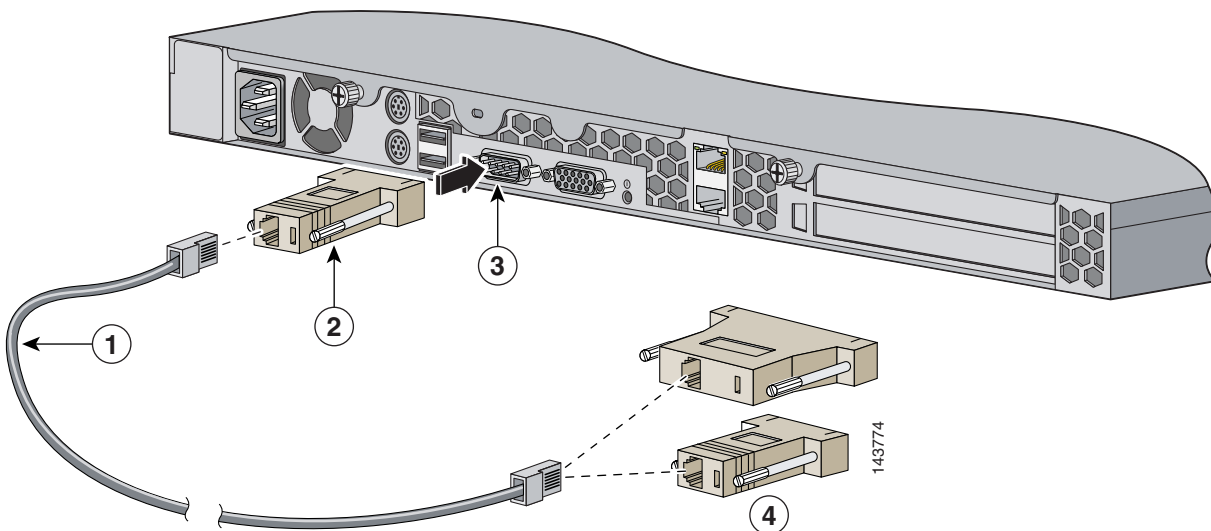
2. ネットワーク ケーブルの反対側を、ネットワークのハブまたはスイッチに接続します。
3. コンソール ケーブルを接続します。図 3-12 に示すように、接続の一方の端には、ご使用のコンソール / コンピュータのシリアルポートに合わせて DB-9 または DB-25 コネクタ、もう一方の端には GSS 4492R のコンソール シリアルポート用の DB-9 コネクタを取り付けてください。次に、2 つの D サブアダプタの間に、RJ-45 ロール型 (コンソール) ケーブルを接続します。



(注)

設定コマンドを入力するには、コンソールポートを使用して、コンピュータ、コンソール、または通信サーバに接続します。シリアルケーブルは、アクセサリキットに入っています。シリアルケーブルアセンブリには、RJ-45 コネクタの付いたロール型 (コンソール) ケーブル、2 つの DB-9 コネクタアダプタ (PN 74-0495-01) および DB-25 コネクタアダプタ (PN 29-0810-01) が入っています。

図 3-12 コンソール接続



1	RJ-45 ロール型シリアルケーブル (ヌルモデム)	3	コンソール シリアルポート
2	GSS 4492R のコンソール シリアルポートに接続する DB-9 アダプタ	4	コンピュータ / コンソールのシリアルポートに接続する DB-25 または DB-9 アダプタ

AC 電源の接続



警告

この装置はアース接続する必要があります。アース導体を破損しないように注意し、アース導体を正しく取り付けないまま装置を稼働させないでください。アース接続が適正であるかどうか分からない場合には、電気検査機関または電気技術者に相談してください。警告文 1024

GSS 4492R に AC 電源を接続する手順は、次のとおりです。

1. 第2章「設置の準備」の安全に関する情報を読んだかどうかを確認します。
2. GSS 4492R の背面にある電源コード レセプタクルに、AC 電源コードを取り付けます (図 1-2 を参照)。
3. 電源コードの反対側を、電源に接続します。
4. 外付けのすべての装置の電源を入れます。
5. GSS 4492R の前面パネルにある電源制御ボタンを押します。

GSS 4492R の起動

GSS 4492R に電源を入れると、起動プロセスが開始され次の操作が行われます。

- ハードウェアの初期化と電源投入時自己診断テスト
- BIOS の初期化
- Linux のブート マネージャにあたる LILO (Linux Loader) の初期化
- GSS 4492R イメージのブート (カーネルとソフトウェア)
- スタートアップ バナーと強化暗号化用のスプラッシュ画面の表示
- GSS 4492R へのログインの指示



(注)

電源投入時には、GSS 4492R の前面パネルのグリーンの電源 LED が点灯します。

ここまでのプロセスが完了すると、GSS 4492R を使用できるようになります。次のマニュアルを参照してください。

- GSS 4492R のセットアップと設定については、『*Cisco Global Site Selector Getting Started Guide*』
- GSSM および GSS デバイスの正しい管理とメンテナンスの手順については、『*Cisco Global Site Selector Administration Guide*』
- GSS 装置を GUI から設定してグローバル サーバ負荷バランシングを実行するための手順については、『*Cisco Global Site Selector GUI-Based Global Server Load-Balancing Configuration Guide*』
- GSS 装置を CLI から設定してグローバル サーバ負荷バランシングを実行するための手順については、『*Cisco Global Site Selector CLI-Based Global Server Load-Balancing Configuration Guide*』

スタートアップ設定ファイルを使用している場合を除いて、GSS 4492R を最初に起動する際には、セットアップ スクリプトが自動的に実行され、GSS 4492R の初期設定プロセスを案内するガイドが提供されます。セットアップ スクリプトの使用法については、『*Cisco Global Site Selector Getting Started Guide*』を参照してください。

シリアル コンソール接続の確立

Cisco Global Site Selector 4492R を設定する前に、装置へのシリアル コンソール接続を確立する必要があります。接続には、PC、2 つの DB-9 - RJ-45 アダプタ（付属）、ロール型 RJ-45 ケーブル（付属）、ターミナル エミュレーション通信ソフトウェア（Hyper Terminal など）が必要です。必要に応じて、シリアル コンセントレータ接続を使用することもできます。

シリアル コンソール接続を確立するための手順は、次のとおりです。

1. 次の操作を行い、コンソールを背面パネルのシリアル コンソール ポートに接続します。
 - a. DB-9 - RJ-45 アダプタをコンソールのシリアル ポートに接続します。
 - b. DB-9 - RJ-45 アダプタを、Cisco Global Site Selector 4492R のシリアル ポートに接続します。シリアル ポートの位置については、[図 1-2](#) を参照してください。
 - c. ロール型 RJ-45 ケーブルを使用して、コンソールを Cisco Global Site Selector 4492R に接続します。
2. GSS 4492R の電源を入れていない場合は、「[GSS 4492R の起動](#)」の項の説明に従って電源を入れます。
3. PC 上でターミナル エミュレーション アプリケーションを起動し、GSS の CLI にアクセスします。次の手順では、Windows 用の HyperTerminal を使用します。
 - a. HyperTerminal を起動します。[接続の設定] ウィンドウが表示されます。
 - b. [名前] フィールドにセッションの名前を入力します。
 - c. [OK] をクリックします。[接続の設定] ウィンドウが表示されます。
 - d. ドロップダウン リストから、装置が接続されている COM ポートを選択します。
 - e. [OK] をクリックします。[COMx のプロパティ] ウィンドウが表示されます。
 - f. ポートのプロパティを次のように設定します。
 - ボーレート (ビット / 秒) = 9600
 - データビット = 8
 - フロー制御 = なし
 - パリティ = なし
 - ストップビット = 1
 - g. [OK] をクリックして接続します。
 - h. [Enter] キーを押して、CLI プロンプトを表示します。
4. セッションが確立したら、[ファイル] メニューから [名前を付けて保存] を選択して、接続の設定を保存します。接続の設定を保存しておくこと、次の 2 つの点で便利です。
 - 次に HyperTerminal を起動する際、[スタート] > [プログラム] > [アクセサリ] > [ハイパーターミナル] > [セッションの名前] に、保存したセッションがオプションとして表示されます。このオプションにより、設定手順を繰り返さなくても、直接 CLI プロンプトにアクセスできます。
 - 別の装置にケーブル接続する際に、新しい HyperTerminal セッションを設定する必要がなくなります。この方法を使用する場合は、必ず新しい装置の接続ポートが保存した HyperTerminal セッションで設定したポートと一致するようにしてください。そうしないと、プロンプトのない空白の画面が表示されます。

前面パネルの LED のチェック

GSS 4492R が立ち上がったら、前面パネルの LED を観察して、GSS 4492R の動作ステータスを監視してください。前面パネルの LED の位置とその機能については、[図 1-1](#) を参照してください。

GSS 4492R の取り外しまたは交換

**警告**

オン / オフスイッチのあるシステムで作業を始める場合、はじめに電源スイッチをオフにし、電源コードのプラグを抜いてください。警告文 1

**警告**

この製品を廃棄処分する際は、各国の法律および規制に従って取り扱ってください。警告文 1040

GSS 4492R を物理的に取り外しまたは交換する前に、プライマリ GSSM の GUI を使用して、GSS 4492R をネットワークから論理的に取り外します。次のようなケースでは、GSS 4492R をネットワークから論理的に取り外す必要があります。

- GSS 装置を別の GSS ネットワークに移動する。
- GSS またはスタンバイ GSSM を取り外すまたは交換する。
- 修理または交換のために、GSS またはスタンバイ GSSM を修理先に送る。

プライマリ GSSM の GUI を使用して GSS 装置またはスタンバイ GSSM を GSS ネットワークから論理的に削除する手順については、『*Cisco Global Site Selector Administration Guide*』の第1章「Managing GSS Devices from the GUI」を参照してください。

**(注)**

プライマリ GSSM を GSS ネットワークから論理的に取り外すことはできません。メンテナンスまたは修理のためにプライマリ GSSM を物理的にオフラインにする必要がある場合は、『*Cisco Global Site Selector Administration Guide*』の説明に従って、プライマリ GSSM とスタンバイ GSSM の役割を一時的に交換してください。

GSS 4492R をネットワークから物理的に取り外す手順は、次のとおりです。

1. GSS 4492R の前面パネルの電源ボタンを押して、GSS 4492R の電源を切ります。
2. 電源コードとネットワーク ケーブルを取り外します。
3. ラックからシャーシを物理的に取り出します。

GSS 4492R を物理的に交換する場合は、新しい GSS 4492R を設置して、取り外した GSS 4492R で使用していたものと同じ設定パラメータ (IP アドレスなど) で設定します。詳細については、『*Cisco Global Site Selector Getting Started Guide*』を参照してください。



GSS 4492R ハードウェアのトラブルシューティング

GSS 4492R が予想通りに動作していない場合は、この章で説明する手順に従ってトラブルシューティングを開始します。この章では、基本的な GSS 4492R の問題の解決に役立つ、いくつかの初期チェックと手順について説明します。

この章の内容は、次のとおりです。

- [基本項目の確認](#)
- [接続の確認](#)

基本項目の確認

基本的な GSS 4492R の問題を解決するには、次の手順に従ってください。

1. GSS ソフトウェアは、アラート メッセージを表示しましたか。
 - **はい**。アラート メッセージで指定されたコンポーネントをチェックします。
 - **いいえ**。手順 2 へ進みます。
2. GSS 4492R の外観を調べます。GSS 4492R は、濡れたり、損傷したりしていますか。
 - **はい**。液体をこぼしたり、しぶきがはねかかったり、湿度が過剰だったりすると、GSS 4492R に損傷を招くことがあります。GSS 4492R が濡れている場合は、サービス担当者に対処方法を問い合わせてください。「[テクニカル サポート](#)」([xiv ページ](#))を参照してください。
GSS 4492R を移動中に落としたり、損傷したりした場合は、正常に機能するかどうかを確認する必要があります。GSS 4492R に接続されている外部装置を落としたり、損傷したりした場合は、サービス担当者に対処方法を問い合わせてください。「[テクニカル サポート](#)」([xiv ページ](#))を参照してください。
 - **いいえ**。手順 3 へ進みます。
3. [接続の確認](#)の手順を実行します。

問題は解決しましたか。

 - **はい**。GSS 4492R への電源供給が不安定であったか、接続が緩んでいました。これで、問題は修正されました。
 - **いいえ**。手順 4 へ進みます。
4. GSS 4492R は、ブートルーチンを完了しましたか。
 - **はい**。GSS 4492R の構成情報は正しい構成情報でした。
 - **いいえ**。サービス担当者に連絡してください。「[テクニカル サポート](#)」([xiv ページ](#))を参照してください。

接続の確認

GSS 4492R やその他の外部装置の問題の主な原因としては、ケーブルの緩みまたは不適切な接続といったことが考えられます。すべての ケーブル接続を一通りチェックするだけで、これらの問題を簡単に解決できる場合があります。GSS 4492R の前面パネルのインジケータの位置と背面パネルのインジケータ、接続、コントロールの位置については、第1章「製品概要」を参照してください。

すべての接続をチェックするには、次の手順に従ってください。

1. GSS 4492R の電源を切ります。すべての電源ケーブルを電源コンセントから抜きます。
2. GSS 4492R が電源ストリップ（または配電装置）に接続されている場合は、電源ストリップを一旦オフにしてから、再度オンにします。
電源ストリップに電力は供給されていますか。
 - はい。手順 5 へ進みます。
 - いいえ。手順 3 へ進みます。
3. 電源ストリップを別の電源コンセントに差し込みます。
電源ストリップに電力は供給されていますか。
 - はい。おそらく、元の電源コンセントが機能していません。別の電源コンセントを使用してください。
 - いいえ。手順 4 へ進みます。
4. 稼働することがわかっている GSS 4492R を電源コンセントに差し込みます。
GSS 4492R に電力は供給されますか。
 - はい。おそらく、電源ストリップが機能していません。別の電源ストリップを使用してください。
 - いいえ。手順 5 へ進みます。
5. GSS 4492R を電源コンセントまたは電源ストリップに接続し直します。
すべての接続が、しっかりとつながっていることを確認します。イーサネットケーブルとコンソールケーブルが、GSS 4492R での使用に適切であることを確認します（第1章「製品概要」を参照）。
6. GSS 4492R の電源を入れます。
問題は解決しましたか。
 - はい。コネクタが緩んでいました。これで、問題は修正されました。
 - いいえ。サービス担当者に連絡してください。「テクニカルサポート」(xiv ページ)を参照してください。



メンテナンス GSS 4492R

予防保守を目的とした手順を適切に実行すると、GSS 4492R を常に良好な稼働状態に保ち、時間のかかるサービス手続きの必要性を最小限に抑えることができます。この章では、定期的に行う必要のあるメンテナンス手順について説明します。

この章には、次の項があります。

- [設置環境のメンテナンス](#)
- [電源保護装置の使用方法](#)

設置環境のメンテナンス

電源装置の排気ファンは、さまざまな開口部から空気を吸い込み、背面パネルからその空気を吹き出すことで、電源装置と GSS 4492R を冷却します。ただし、ファンはほこりやその他の微粒子も GSS 4492R に取り込んでしまうため、汚れの原因となる物質が蓄積し、その結果、シャーシの内部温度が上昇したり、各種 GSS 4492R コンポーネントの動作が妨げられたりすることがあります。

このような状況を避けるため、作業環境を常に清潔に保ち、GSS 4492R 周辺のほこりやごみの量を減らして、電源装置ファンがシステムに取り込んでしまう汚れの原因となる物質の量を減らすことをお勧めします。

ここでは、GSS 4492R のパフォーマンスと寿命に悪影響を与える可能性のあるさまざまな環境要因について説明します。この項で説明する環境要因は次のとおりです。

- [温度](#)
- [湿度](#)
- [高度](#)
- [ほこりと微粒子](#)
- [腐食](#)
- [静電放電](#)
- [電磁干渉と無線周波数干渉](#)
- [磁気](#)
- [電源の中断](#)

温度

温度の過剰な上昇または低下は、早期劣化、半導体素子の障害、装置の機械的な障害など、さまざまな問題を引き起こすことがあります。極端な温度の変動が原因で、ソケットでの半導体素子が緩み、ディスクドライブプレートが膨張または収縮して、データの読み取りエラーや書き込みエラーが発生する場合があります。

温度が GSS 4492R のパフォーマンスに及ぼす悪影響を最小限に抑えるため、次のガイドラインに従ってください。

- GSS 4492R は 0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) の環境で動作させてください。
- GSS 4492R の適切な通気を確保してください。閉鎖型の壁面ユニットの中や布の上にシステムを設置しないでください。温度の上昇を助長してしまうことがあります。直射日光のあたる場所に設置しないでください。また、冬期の暖房の吹き出し口をはじめ、どのような種類であっても熱源の近くには設置しないでください。

標高の高い場所では、適切な通気が特に重要となります。高地で、GSS 4492R を高温で稼働させると、最適なパフォーマンスを得られないことがあります。

- GSS 4492R のすべてのスロットと開口部、特に GSS 4492R 背面のファン排気口を遮る障害物がないことを確認してください。
- ほこりやごみが蓄積しないように、定期的に GSS 4492R を清掃してください。ほこりやごみが蓄積すると、システムが過熱する恐れがあります。
- GSS 4492R が異常な低温にさらされた場合は、2 時間のウォームアップ時間を取り、通常動作温度になってから、電源を入れてください。そうしないと、内部コンポーネント、特にハードディスクドライブに損傷を引き起こすことがあります。

湿度

湿度が高い状況では、湿気が GSS 4492R 内にまで浸透してしまう可能性があります。この湿気が原因で、内部コンポーネントの腐食や、電気抵抗、熱伝導率、物理的強度、サイズなどの特性の劣化が発生することがあります。また、GSS 4492R 内の湿度が極端に高くなると、電気回路の短絡を招き、深刻な損傷を引き起こすことがあります。

各 GSS 4492R の動作時の定格湿度は、相対湿度 8 ~ 80%、1 時間あたりの湿度変化 10% です。温暖期には冷房、寒冷期には暖房で、室温が管理されているビル内では、通常、GSS 4492R が許容するレベルの湿度が維持されています。ただし、異常に湿度の高い場所に GSS 4492R がある場合は、除湿装置を使用して許容範囲内の湿度を維持してください。

高度

標高の高い（気圧の低い）場所で GSS 4492R を稼働させると、急速対流冷却機能の効率が低下し、アーク放電やコロナ放電に関連する電気障害を招くことがあります。また、このような状況では、電解コンデンサなどの内部圧力がかかっている密閉されたコンポーネントが故障したり、その実行効率が低下したりすることがあります。

GSS 4492R の最大定格高度は、2,000m（6,500 フィート）です。

ほこりと微粒子

動作環境を清潔に保つと、ほこりやその他の微粒子による悪影響を大幅に減らすことができます。ほこりや微粒子は、絶縁体として作用したり、機械的なコンポーネントの動作を妨げたりすることがあります。また、定期的に清掃する以外にも、GSS 4492R 装置の汚れを防ぐために、次のガイドラインに従ってください。

- GSS 4492R の近くはすべて禁煙にしてください。
- GSS 4492R の近くでの飲食は禁止してください。
- GSS 4492R を使用していないときは、ダストカバーをかけてください。
- 窓と外部に通じるドアは閉じ、浮遊する微粒子が入らないようにしてください。

腐食

人の指先の油や、高温多湿の環境に長時間さらされたことが原因で、GSS 4492R 内の各種装置の金めっきされたエッジ コネクタやピン コネクタが腐食することがあります。このような GSS 4492R のコネクタの腐食は、徐々に進行し、最終的に電気回路の断続的な障害を招く可能性があります。

腐食を防ぐため、ボードやカード上の接点には触れないでください。腐食を助長しやすい湿気の多い環境や塩分の多い環境では、特に腐食要素から GSS 4492R を保護することが重要です。また、さらに腐食を防ぐために、「[温度](#)」(5-2 ページ)で説明したとおり、極端な温度変動のある環境では GSS 4492R を使用しないでください。

静電放電

Electrostatic Discharge (ESD; 静電放電) は、人体やその他の物体に静電気が蓄積することにより発生します。通常、このような静電気は、カーペットの上を歩くなどの単純な動作によって生成されます。ESD とは、帯電した人が GSS 4492R 内のコンポーネントに触れるときに発生する、静電気の放電です。この静電気の放電により、コンポーネント、特に半導体素子が故障する可能性があります。

ESD は、とりわけ、相対湿度が 50 パーセント未満の乾燥した環境で問題となります。

ESD の影響を減らすため、次のガイドラインに従ってください。

- 静電気防止用リストストラップを着用してください。静電気防止用リストストラップがない場合は、シャーシの塗装されていない金属面に定期的に触れ、静電気を放出してください。
- コンポーネントは、取り付けるまで帯電防止パッケージに入れたままにしてください。
- ウールまたは合成繊維の衣服を着用しないでください。

電磁干渉と無線周波数干渉

Electromagnetic Interference (EMI; 電磁干渉) と Radio Frequency Interference (RFI; 無線周波数干渉) は、GSS 4492R の近くで稼働しているラジオやテレビ (TV) 受信機などの装置に悪影響を及ぼすことがあります。また、GSS 4492R が放出する無線周波数が、コードレス電話や低出力電話の通信を妨げる場合もあります。逆に、高出力の電話機からの RFI が原因で、システムのモニタ画面に意味不明の文字が表示されることもあります。

RFI は、10 キロヘルツ (kHz) を超える周波数を発する EMI として定義されています。このタイプの干渉は、電源ケーブルと電源を介して、または送信された電波のように空気を介して、GSS 4492R からその他の装置へ伝播されることがあります。Federal Communications Commission (FCC; 米国連邦通信委員会) は、コンピューティング装置が放出する EMI および RFI の量を制限するための特別な規制を公表しています。各 GSS 4492R は、この FCC 規制に準拠しています。

EMI および RFI が発生する可能性を低く抑えるために、次のガイドラインに従ってください。

- GSS 4492R は、カバーを取り付けた状態でのみ稼働してください。
- すべての周辺ケーブルコネクタのネジが、GSS 4492R 背面の対応するコネクタにしっかり留められていることを確認します。
- 周辺装置を GSS 4492R に接続する場合は、必ず、金属製のコネクタ シェル付きのシールド ケーブルを使用してください。

磁気

ハード ディスク ドライブは、データを磁気で記憶するため、磁気の影響を非常に受けやすい装置です。ハード ディスク ドライブは、次のような磁気を発生する装置の近くで保管しないでください。

- モニタ
- テレビ
- プリンタ
- ベル式電話機
- 蛍光灯

電源の中断

GSS 4492R は、特に、AC 電源から供給される電圧の変動の影響を受けやすくなっています。過電圧、低電圧、過渡電圧（つまり、スパイク）により、メモリからデータが消去されたり、コンポーネントの故障まで発生する恐れがあります。このような問題を防止するため、必ず電源ケーブルを適切に接地してください。次の方法のどちらか 1 つまたは両方を使用してください。

- 「[電源保護装置の使用法](#)」(5-5 ページ) で説明されている電源保護装置のいずれかを使用してください。
- GSS 4492R は、専用電力回路に設置してください（電力を大量に消費する他の電気機器と回路を共有させないでください）。一般に、GSS 4492R の電力回路を、次の機器と共有させないでください。
 - コピー機
 - 冷暖房装置
 - 電気掃除機
 - 暖房器
 - 電動工具
 - テレタイプ機
 - 計算機
 - レーザー プリンタ
 - ファクシミリ装置
 - その他の電動装置

これらの電気製品以外に、GSS 4492R の電源に対する最大の脅威となるのは、落雷によるサージまたは停電です。雷雨の間は、可能な限り GSS 4492R とすべての周辺装置の電源を切り、プラグを電源から抜いてください。

GSS 4492R に電源が入っている状態で停電が起きた場合は、それが一時的なものであっても、直ちにシステムの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。GSS 4492R の電源を入れたままにしておくと、電力が復旧したときに問題が発生する恐れがあります。同じ区域で電源が入ったままになっているその他のすべての電気製品によって、大きな電圧スパイクが起き、GSS 4492R が損傷する可能性があるからです。

電源保護装置の使用法

電圧のサージ、過渡電流、電源障害などの電源に関する問題を防ぐための装置は多数あります。ここでは、そのような装置の一部について説明します。

サージ プロテクタ

サージ プロテクタにはさまざまなタイプがありますが、通常は、装置のコストに相応した保護レベルを備えています。サージ プロテクタは、雷雨の際に発生した電圧スパイクなどの急上昇した電圧が、コンセントを通じて GSS 4492R に入るのを防止します。ただし、サージ プロテクタは、電圧が通常の AC 回線の電圧水準を 20 % 以上下回るような、急激な電圧低下には効力がありません。

電力コンディショナ

電力コンディショナは、サージ プロテクタの過電圧保護より強力な機能を備えています。電力コンディショナは、GSS 4492R の AC 電源の電圧をほぼ一定の水準に保ち、急激な電圧低下にも対応できます。電力コンディショナには、この保護機能が追加されているため、サージ プロテクタに比べて価格が高く、数百ドルにもなります。ただし、この装置でも、完全な電源喪失には対応できません。

無停電電源装置

Uninterruptible Power Supply (UPS; 無停電電源装置) システムは、電源の変動に対する最も完璧な保護機能を備えています。これは、UPS が、AC 電源が失われたときに、GSS 4492R の稼働を維持するバッテリー電源を使用するからです。このバッテリー電源は、AC 電源が使用可能なときに、AC 電源によって充電されます。そのため、AC 電源からの電力供給が失われても、バッテリーは一定時間 (UPS システムによって異なりますが、15 分間から 1 時間程度) GSS 4492R に電力を供給することができます。

UPS システムは、必ず、サージ プロテクタと一緒に使用する必要があります。また、UPS システムは、Underwriters Laboratories (UL) 安全規格に適合したものでなければなりません。



仕様

ここでは、Cisco GSS 4492R の仕様を提供します。次の項があります。

- [電気仕様](#)
- [環境仕様](#)
- [物理仕様](#)
- [ポート仕様](#)

電気仕様

[表 A-1](#) に、GSS の AC 電気仕様を示します。

表 A-1 AC 電気仕様

AC 仕様	動作時
入力電圧 (V)	100 ~ 240VAC
入力電圧 (F)	50 ~ 60Hz
入力電流	3.5A
消費電力	345W
発熱量	1314BTU/時

環境仕様

表 A-2 に、GSS の環境仕様を示します。

表 A-2 環境仕様

仕様	動作時	非動作時
温度	0 ~ 40°C (32 ~ 104°F)	-20 ~ 60°C (-4 ~ 140°F)
湿度	90% (40°C 時) (結露しないこと)	90% (60°C 時) (結露しないこと)
衝撃	31G (正弦波)	71G (正弦波)、20G (方形波)
振動	0.25G (3 ~ 200Hz)	0.5G (3 ~ 200Hz)
騒音	50dBa (最大)	該当なし



(注)

G は重力加速度です。1G=9.81m/秒² (32.17 フィート/秒²) です。

物理仕様

表 A-3 に、GSS の物理仕様を示します。

表 A-3 物理仕様

項目	仕様
本体の寸法 (高さ × 幅 × 奥行)	42.4 × 430 × 509mm (1.50 × 16.92 × 20.04 インチ)
出荷時の重量	18.2kg (40.0 ポンド)
本体の重量	14kg (30.8 ポンド)

ポート仕様

表 A-4 に、GSS のポート仕様を示します。

表 A-4 ポート仕様

項目	仕様
ポート	<ul style="list-style-type: none"> 1000BASE-TX、100BASE-TX、10BASE-T (デュアル) イーサネット ポート コンソール シリアル ポート



GSS 4492R コンソールポートへの モデムの接続

この付録では、ダイヤルアップ モデムを設定して、GSS 4492R のコンソールポートに接続する方法について説明します。モデムを GSS 4492R に接続すると、ローカルで行うのと同じ GSS 4492R のコンソール操作をリモートで行うことができます。GSS 4492R は、次のモデムをサポートします。

- 3Com (US Robotics) Courier Model 3453 モデム
- 3Com OfficeConnect Model 3294 モデム
- 3Com (US Robotics) Sportster Model 5686 モデム
- MultiTech Model MT5634ZBA モデム

この付録の内容は次のとおりです。

- [モデムの設定](#)
- [モデムの GSS 4492R へのケーブル接続](#)

モデムの設定

モデムを GSS 4492R に接続するには、あらかじめモデムを設定しておく必要があります。モデムを端末または PC に接続するには、Hyperterminal などのターミナルエミュレーションプログラムを使用します。モデムを PC の COM ポートに接続する場合は、次のケーブルおよびコネクタが必要です。

- RJ-45 - RJ-45 ロール型ケーブル
- RJ-45 - DB-25 モデムアダプタ
- DB-9 - RJ-45 端末アダプタ

図 1-4 には、GSS 4492R の背面パネルにある 9 ピン、オス型 D シェル コンソールポートコネクタのピン番号割り当てが掲載されています。このピン番号割り当ては、業界の標準に準拠しています。

表 1-1 には、GSS 4492R コンソールポートのコネクタのピン配置が掲載されています。

モデムは、Attention (AT) コマンドセットのコマンドを入力して設定します。また、該当する場合は、モデムの設定スイッチを切り替えて設定することもできます。モデムの設定プロセスは機種によって異なりますが、設定の結果モデムが次のように動作するように設定してください。

- 1 回目のコールで応答する。
- フロー制御メカニズムを、ハードウェア、ソフトウェアとも無効にする。
- DTR と RTS のモデム制御信号を無視する。
- コマンドモード入力のエコーを除去する。
- AT コマンドの認識を無効にする。

モデムの GSS 4492R へのケーブル接続

モデムを設定したら、次の手順を実行してモデムを GSS 4492R に接続します。

1. ロール型 RJ-45 - RJ-45 フラットケーブルを PC の端末アダプタから抜き取り、GSS 4492R の背面パネルのコンソールポートに接続します (図 1-2 を参照)。
2. リモートコンソールの設定が、表 B-1 に示す GSS 4492R のデフォルト設定と一致していることを確認します。

表 B-1 コンソールポートのデフォルト設定

パラメータ	デフォルト設定
ボーレート	9600
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
端末タイプ	VT100/ANSI
フロー制御	なし



(注)

リモートからモデムを介して GSS 4492R にログインした場合は、必ずログアウトしてからセッションを切断してください。GSS 4492R 上のコンソールセッションの最長アイドル時間を設定するには、`exec-timeout timeout` コマンドを使用します。ここで設定した時間を経過しても操作が行われな場合、ユーザは強制的にログアウトされます。デフォルトでは、タイムアウト値は 150 分に設定されています。



Numerics

4 支柱ラック用マウント キット
設置手順 3-3

A

AC 電気仕様 A-1
AC 電源 2-9
レセプタクル 1-4
接続 3-13
無停電電源装置 5-5
コード、接続 3-13
設置準備 2-9
電源の中断 5-4
電力コンディショナ 5-5
保護装置 5-5

C

CLI
シリアル コンソール接続、確立 3-14
接続セッションの保存 3-14

E

EMI、影響の防止 5-3
ESD、損傷の防止 5-3

H

HyperTerminal
起動 3-14
セッションの保存 3-14

I

ID ボタン 1-3

L

LAN
オプション、注意事項 2-11
注意事項 2-11
LED インジケータ
動作ステータスのモニタリング 3-15

R

RFI、影響の防止 5-3
RJ-45 - DB-25 ケーブルのピン割り当て 1-7
RJ-45 - DB-9 ケーブルのピン割り当て 1-7

あ

アプライアンスの取り外しまたは交換 3-15
アプライアンスをネットワークから物理的に取り外す 3-15

安全

EMI 防止 2-7
安全上の重要な注意事項 2-2
安全な環境の構築 2-9
安全な環境、構築 2-9
一般的な注意事項 2-4
インストラクション 2-2
警告と注意 2-2
静電放電 2-6
電気に関する 2-5
電気に関する注事事項 2-5

い

イーサネット インターフェイス

- イーサネット 0 コネクタ 1-4
- イーサネット 1 コネクタ 1-4
- カテゴリ 5 UTP ケーブル 3-12
- ケーブル接続要件 3-12
- コネクタのピン割り当て 1-5
- 説明 1-5
- イーサネット コントローラ 1-5
- ケーブル接続要件 1-5
- 仕様 A-2

インストレーション

- 安全な環境の構築 2-9
- 一般的な注意事項 2-4
- 開梱と同梱品の確認 3-2
- 準備 2-1
 - LAN オプション、注意事項 2-11
 - 通信、注意事項 2-11
 - モデム、注意事項 2-11
- 設置環境の条件 2-8
- 設置場所の準備 2-7
- 設置場所の選定 2-8
- ネットワーク、セットアップ 2-11
- 必要な工具および装置 2-11
- ラックマウントに関する注意事項 2-10

お

- 温度に関するガイドライン 5-2

か

環境

- 仕様 A-2
- 設置環境の条件 2-8
- 環境、メンテナンス 5-1

き

- 技術仕様 A-1

け

警告

関連

- アース導体、破損 2-3, 2-9
- 安全カバー 2-2
- オン / オフ スイッチ 2-4
- 雷の発生 2-3, 3-12
- シャーシ、作業 2-3
- ショート 2-3, 2-9
- 設置区域 2-8
- 前面プレートとカバー パネル、取り外し 2-3
- 装身具 2-4
- 装置の廃棄 2-4
- 装置をアースしない場合 2-3
- 装置、開く 2-3
- 手順、読む 2-4
- 電源コード、複数 2-3
- 爆発 2-4
- バッテリーと爆発の危険性 2-4

翻訳 2-2

ケーブル接続

- 一般的な注意事項 2-4
- ケーブル、接続 3-12
- 接続のトラブルシューティング 4-3
- 設置場所準備のガイドライン 2-9
- 背面パネルの機能 1-4
- 要件 1-5, 3-12

ケーブルのピン割り当て

- RJ-45 - DB-9 1-7
- RJ-45 - DB-25 1-7

ケーブル接続

- カテゴリ 5e ケーブル 1-5, 3-12

こ

- 高度、ガイドライン 5-2

コンソール ポート

- ピン配列 1-6
- 位置 1-4
- 接続 3-12
- 説明 1-6
- 動作設定 1-6
- モデム、接続 B-1
- 接続の確立 3-14

さ

サージプロテクタ、使用 5-5

し

磁気、影響の防止 5-4

システム ID ボタン 1-3, 1-4

システムハードウェアのトラブルシューティング
4-1

システムの稼働開始 3-13

システムの起動 3-13

湿度に関するガイドライン 5-2

仕様 A-1

環境 A-2

電気 A-1

物理 A-2

ポート A-2

シリアルポート

位置 1-4

説明 1-6

ピン配列 1-6

接続 3-14

せ

静電放電、に対する保護 2-6, 5-3

製品の破損、報告 3-2

接続

ケーブル 3-12

コンソールポートからモデムへ B-1

電源 3-13

トラブルシューティング 4-3

センサー

電源に関するガイドライン 2-9

前面パネル

図 1-3

特長 1-3

た

対象読者 viii

ち

注意、説明 x

つ

通信、注意事項 2-11

て

電気仕様 A-1

電気、安全に関する注意事項 2-5

電源

AC電源レセプタクル 1-4

システムへの接続 3-13

電源の中断、損傷の防止 5-4

電源装置、無停電の使用 5-5

電源に関するガイドライン 2-9

電源保護装置 5-5

電源ボタン 1-3

電磁干渉

EMIを参照

電力コンディショナ、使用 5-5

と

動作環境の清掃、ガイドライン 5-3

動作ステータス、モニタリング 3-15

トラブルシューティング 4-1

基本項目の確認 4-2

スイッチ 4-3

接続 4-3

ね

ネットワーク、アプライアンスの物理的取り外し
3-15

は

ハードディスクドライブ

磁気の影響 5-4

ハードウェア

トラブルシューティング 4-1

特長 1-2

背面パネル

接続 1-4

特長 1-4

場所

環境、メンテナンスの対象 5-1

準備 2-7 システム ID ボタンによる装置の位置確認 1-3,
要件 2-8 1-4

ふ

腐食、損傷の防止 5-3
物理仕様 A-2

ほ

ポート コネクタ 1-5
ポート仕様 A-2
ほこり、損傷の防止 5-3

ま

マニュアル
関連 ix
セット ix
表記法 x

む

無線周波数干渉
RFI を参照
無停電電源装置、使用 5-5

め

メンテナンス 5-1

も

モデム
コンソールポートへの接続 B-1
注意事項 2-11

ら

ラックマウント
設置に関する考慮事項 3-3
注意事項 2-10
4 支柱ラック 3-3